

旧津市高茶屋保育園解体工事

図名リスト					
建築工事			電気設備工事		
A-1	解体工事特記仕様書- 1	S-1	基礎伏図	E-1	電気設備 配置図
A-2	解体工事特記仕様書- 2	S-2	梁伏図	E-2	電気設備 1 階平面図
A-3	仕上表	S-3	テラス梁伏図	E-3	電気設備 屋上平面図
A-4	欠番	S-4	スラブ伏図		
A-5	配置図	S-5	テラススラブ伏図		
A-6	平面図	S-6	基礎リスト		
A-7	屋上平面図	S-7	地中梁リスト 柱リスト		
A-8	断面詳細図-1	S-8	梁リスト-1		
A-9	断面詳細図-2	S-9	梁リスト-2		
A-10	断面詳細図-3	S-10	スラブリスト	機械設備工事	
A-11	断面詳細図-4	S-11	軸組図-1	M-1	機械設備 配置図
A-12	断面詳細図-5	S-12	軸組図-2	M-2	給排水衛生設備 平面図
A-13	立面図-1	S-13	配筋詳細図	M-3	空調換気設備 平面図
A-14	立面図-2	S-14	3 通り軸組詳細図	M-4	空調換気設備 屋上平面図
A-15	展開図-1	S-15	4 通り軸組詳細図		
A-16	展開図-2	S-16	9 通り軸組詳細図		
A-17	展開図-3	S-17	10通り軸組詳細図		
A-18	天井伏図	S-18	12通り軸組詳細図		
A-19	建具指示図	S-19	B通り軸組詳細図		
A-20	建具表-1	S-20	D通り軸組詳細図-1		
A-21	建具表-2	S-21	D通り軸組詳細図-2		
A-22	建具表-3	S-22	E通り軸組詳細図		
A-23	屋外付帯配置図	S-23	F通り軸組詳細図		
A-24	外構 詳細図-1				
A-25	外構 詳細図-2				
A-26	外構 詳細図-3				
A-27	外構 詳細図-4				
A-28	外構 詳細図-5				
A-29	外構 詳細図-6				
A-30	総合仮設計画図				

解体工事特記仕様書

- Ⅰ. 工事名
旧津市高茶屋保育園解体工事

Ⅱ. 工事概要

 - 1 工事場所
津市高茶屋三丁目 地内
 - 2 工事内容

棟名称	旧津市高茶屋保育園
構 造	鉄筋コンクリート造平家建
延床面積	延べ面積927㎡

工事項目 解体（設備撤去含む） 倉庫、駐輪場、外構等 一式

Ⅲ. 解体工事仕様

 - 1 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、建築物解体工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、令和4年版）による。
 - 2 特記仕様
 - 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
 - 2) 特記事項は、○の付いたものを適用する。
 - 3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は解共仕の該当項目等を示す。

章	項目	特記事項																	
① 一般共通事項	① 適用基準	<p>本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」（令和4年版） ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」（令和4年版） ◎国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書・同解説」（最新版） ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事標準詳細図」（令和4年版） ◎建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 ◎その他関係法令 																	
	② 発生材の処理等 (1. 3. 10) (4. 4. 1) (5. 4. 1)	<p>◎ 本工事は、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事等であって、その規模が、建設リサイクル法施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。</p> <p>工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。</p> <p>・ 分別解体等の方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th><th>作業の有無</th><th>分別解体等の方法</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築設備・内装材等</td><td>◎ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ◎手作業、機械作業の併用</td></tr> <tr> <td>屋根ふき材</td><td>◎ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ◎手作業、機械作業の併用</td></tr> <tr> <td>外装材・上部構造部分</td><td>◎ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ◎手作業、機械作業の併用</td></tr> <tr> <td>基礎・基礎ぐい</td><td>◎ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ◎手作業、機械作業の併用</td></tr> <tr> <td>その他 ()</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr> </tbody> </table> <p>引き渡しを要するもの ◎ 無 ・ 金属類 ・ PCB含有物 ・ ()</p> <p>特別管理産業廃棄物 ◎ 有 (石綿含有保温材)</p> <p>処理方法 ()</p> <p>木材の縮減 ・ 実施する</p> <p>(最も近い再資源化施設までの距離が50kmを超える場合に限る)</p> <p>再資源化し現場で利用する建設廃棄物 ・ ()</p> <p>再資源化を図るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ コンクリート塊 ◎ アスファルトコンクリート塊 ◎ 建設発生木材 ◎ 金属類 <ul style="list-style-type: none"> ・ 資源有効利用促進法に基づく指定再資源化製品 ・ 資源有効利用促進法に基づく指定再利用促進製品 ・ 廃棄物処理法に基づく水銀使用製品産業廃棄物 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管及び継手 ・ ガラス 	工程	作業の有無	分別解体等の方法	建築設備・内装材等	◎ 有 ・ 無	・ 手作業 ◎手作業、機械作業の併用	屋根ふき材	◎ 有 ・ 無	・ 手作業 ◎手作業、機械作業の併用	外装材・上部構造部分	◎ 有 ・ 無	・ 手作業 ◎手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	◎ 有 ・ 無	・ 手作業 ◎手作業、機械作業の併用	その他 ()	・ 有 ・ 無
工程	作業の有無	分別解体等の方法																	
建築設備・内装材等	◎ 有 ・ 無	・ 手作業 ◎手作業、機械作業の併用																	
屋根ふき材	◎ 有 ・ 無	・ 手作業 ◎手作業、機械作業の併用																	
外装材・上部構造部分	◎ 有 ・ 無	・ 手作業 ◎手作業、機械作業の併用																	
基礎・基礎ぐい	◎ 有 ・ 無	・ 手作業 ◎手作業、機械作業の併用																	
その他 ()	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																	

- | | |
|----------------------|---|
| ③ 建設副産物情報交換システムの利用 | <p>受注者は、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出することとし、また、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見えやすい場所に掲げること。</p> <p>なお、工事着手前にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へのデータ入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。</p> |
| ④ 三重県
産業廃棄物税 | <p>本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には、完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に、別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書添付して、当該工事の発注者に対して、支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。</p> <p>また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。</p> |
| 5 電気保安技術者
(1.3.3) | ・ 配置する |
| ⑥ 技能士
(1.6.2) | 職種別に可能なものについては積極的に活用すること |
| ⑦ 疑義 | 設計図書に明記のない場合、または、疑義が生じた場合は、監督員と協議し、その指示を受けてから施工すること。 |
| ⑧ 施工条件
(1.3.5) | <p>○ 監督員と協議し決定する。</p> <p>施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり</p> <p>施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ～ 時</p> <p>部位別の施工順序 ・ 指定なし ・ ()</p> <p>工事車両の駐車場 ・ 指定なし ○ 図示（図面番号：A-30）</p> <p>資機材置場 ・ 指定なし ○ 図示（図面番号：A-30）</p> |
| ⑨ 官公庁手続 | 工事に必要な手続きは受注者が速やかに処理し、この手続きに関する諸費用は受注者負担とする。 |
| ⑩ 騒音・振動の防止 | 重機は「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」に基づき指定された建設機械の使用に努めること。 |
| ⑪ 危険災害の防止 | <p>1) 工事期間中、現場内入場者、近隣居住者および周辺建物に危害を与えぬよう注意すること。万一、紛争が生じた場合は、受注者が誠意をもって解決すること。</p> <p>なお、近隣等との折衝は、あらかじめその概要を監督員に報告し、その経過については記録し、遅滞なく監督員に報告する。</p> <p>2) 重機搬出時、発生材搬出時、仮設材搬出時には、交通整理のための誘導員を配置すること。</p> |
| ⑫ 工事進入路 | 重機搬出、産業廃棄物搬出経路については事前に施工計画書を提出し、監督員の承認を得ること。また、工事現場から搬出入する土砂により工事用進入路を汚した場合は、速やかに清掃を行うこと。 |
| ⑬ 工事写真 | <p>1) 着工前：解体建物・敷地周辺・付近道路・工作物の撮影を行うこと。</p> <p>2) 工事中：営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版））に従い撮影のほか、監督員との協議による。</p> <p>なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（平成29年3月1日付け国営整第211号）」による。</p> |
| ⑭ 完成写真 | <p>デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。</p> <p>（A4版用紙に1ページあたり3枚）1部</p> <p>写真は着工前・施工中・完成を同一場所から黒板なしで撮影すること。</p> |
| ⑮ 事故の発生時 | <p>工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により、工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、提出すること。</p> <p>また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。</p> |

- | | |
|---------------|--|
| ① 提出書類 | 施工計画書、仮設計図書、工事写真、その他市監督員の指示するものとする。 |
| ⑦ 産業廃棄物 | 施工計画書には、工事現場から産業廃棄物処理場までの運搬経路、産業廃棄物処理契約書の写し、産業廃棄物収集運搬業者及び産業廃棄物処理業者許可書の写し、その他監督員の指示するものを添付すること。 |
| ⑧ 不正軽油の使用の禁止 | <p>1) 一般事項</p> <p>市工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。</p> <p>2) 調査の協力</p> <p>受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。</p> <p>3) 是正措置</p> <p>受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は、下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。</p> |
| ⑨ 地下残存物の確認 | 中間検査又は完成検査において、地下残存物の確認を受けること。
確認時期は、監督員と協議し決定する。 |
| ⑩ 損傷を与えた場合の対応 | 解体工事により解体建築物以外の建築物や舗装、樹等に損傷を与えた場合には、監督員に報告するとともに、受注者の責任において現状復旧を行うこと。 |
| ⑪ その他 | <p>○ 作業着手までの期間に調査及び施工計画書を作成し、市監督員の承諾を得ること。</p> <p>○ 作業着手までの調査は、事前に施設管理者及び、市監督員と協議するものとする。</p> <p>○ 敷地内、周辺での作業・通行等は周辺住民の安全確保に十分配慮すること。</p> <p>○ 安全対策のため、作業終了時及び休工時は出入口を施錠すること。</p> <p>○ 作業着手前には、現況把握のために、破損箇所等があれば、市監督員の立合いのものと写真等に記録しておくこと。</p> <p>○ 工事期間中、工事に起因し、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原形復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。</p> <p>○ 設計書に明記がなくとも、機能上及び構造上当然必要と認められるもの、並びに、取合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。</p> <p>○ 工事用車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。</p> <p>○ 緊急且つ必要な場合において、市監督員以外（施設管理者等）が直接受注者に指示することがある。その場合は当該指示に従うこと。</p> <p>○ 廃材、残土等の搬出にあたっては、周辺道路を汚さないこととし、当然のことながら無理な積み込みは行わないこと。</p> <p>○ 工事車両等の出庫時は、タイヤ清掃等を行うなど、工事敷地からの土砂の流出抑制に心掛けること。</p> <p>○ 喫煙は限られた場所のみとし、現場内は禁煙とする。</p> <p>○ 建物付属物については特記なき限り記載の有無に関わらず全て撤去処分とする。</p> <p>○ 特記無き植栽は、全て伐採・伐根とし、業者処分とする。</p> <p>○ 埋設配管については特記なき限り記載の有無に関わらず撤去処分とする。</p> <p>○ 本工事の仕上げ材には、アスベスト含有の材料があり撤去及び処分に際しては、環境省からの「非飛散性アスベスト廃棄物の取り扱いに関する技術指針」に基づいて行うものとする。</p> <p>○ 建設機械及び重機を設置・使用する際は、予め地盤や地耐力の確認を行うこと。
支持地盤が不安定なことが確認された場合は鉄板敷きなどの必要な措置を行い安全に配慮して作業を行うこと。</p> <p>○ 足場は、倒壊がないように堅固に組み立てること。</p> <p>○ 台風等により強風が考えられる場合は、足場のシート撤去や部分補強をあらかじめ行うこと。</p> <p>○ 本工事の敷地内に騒音震動測定器（7ヶ所収集可能）を1箇所設置すること。
※レックスRTK-27R（NL-21、VM-53A、RTK-27R）同等</p> <p>○ 石綿含有建材の事前調査結果の報告については、市監督員に報告するとともに三重労働局および津地域防災総合事務所へ報告すること。また報告については「石綿事前調査結果報告システム」を使用すること</p> |

②仮設トイレ

②仮囲い

3 監督員事務所
(2.3.1)

④工事用水

⑤工事用電力

⑥騒音・粉じん等の対策
(2.2.1)

⑦仮設鉄板敷

8山留めの撤去
(2.4.3)

⑨散水養生

⑩足場

③解体施工

①浄化槽、排水槽等
(3.2.1)

2 オイルタンク、サービスタンク配管内等(3.2.1)

③杭の撤去(3.9.2)

構内既存の施設

・利用できる○利用できない

位置○図示(図面番号: A-30)・その他()

仕様○図示(図面番号: A-30)・成形鋼板H=3000○成形鋼板H=2000・その他()

・設置する。
監督員事務所の規模(単位:㎡)

適用					
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

監督職員事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り

備品等の設置

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器
数量	個	個	台	台	台

構内既存の施設

○利用できる(○有償・無償)・利用できない

取出位置・図示(図面番号:)

構内既存の施設

・利用できる(・有償・無償)○利用できない

本工事で新規受電または既設電気回路に接続し、通電した時から、工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。

○設ける・防音パネル○防音シート・養生シート

適用範囲、高さ等 図示(図面番号: A-30)

・設けない

○工事中進入路の養生として、鉄板(t=22)を敷き、養生を行うこと。

・砂充填・()

鋼矢板等の抜き後の処理

位置・図示(図面番号:)

解体作業時には粉塵等の飛散を防ぐため、散水養生を行うこと。

設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月)」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組み立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

汚水、汚物の回収、洗浄、消毒等

○行う○行わない

○行わない

廃油の回収、洗浄等

・行う・行わない

杭の撤去

○行う・行わない

解体方法

○引抜き工法(・振動○ケーシング・())

・破碎

○図示(図面番号: S-1)

④さく、照明設備等
(3.10.1)

⑤樹木等
(3.11.1)

⑥地下埋設物及び埋設配管
(3.12.1)

⑦解体撤去後の整地
(3.13.1)

1 産業廃棄物
広域認定制度(4.4.2)

2 最終処分
(4.4.3)

3 処理に注意を要する建設廃棄物
(4.5.1)

④水銀使用製品産業廃棄物

5 水銀含有ばいじん等

1 施工計画調査
(5.1.2)

2 PCBを含む機器類
(5.4.1)

3 廃油、廃酸、廃アルカリの処理の有無
(5.4.1)

4 ダイオキシン類
(5.4.1)

5 水銀を含む特別管理産業廃棄物

6 廃水銀等

⑥除石去綿及び有処理材の

引き抜いた杭の処理

○図示(図面番号: S-1)

さく、照明設備等の付属物の解体

○図示(図面番号: 各図面)

樹木の伐採抜根及び移植

○行う 図示(図面番号: A-23ほか)

・行わない

地下埋設物及び埋設配管の解体

○行う 図示(図面番号: 各図面)

・行わない

・碎石(C-40)にて周辺地盤面まで埋め戻すこと。

・再生クラッシュラン(RC-40)にて周辺地盤面まで埋め戻すこと。

・山砂にて周辺地盤面まで埋め戻すこと。

○図示(A-23)

特例による広域的処理

・図示(図面番号:)

最終処分する廃棄物・()

最終処分場・()

建設廃棄物の種類	処理方法
・CCA処理木材	
・(1)アスベスト含有石膏ボード	
・(2)ひ素、カドミウム含有石膏ボード	
・(1)(2)以外の石膏ボード	・埋立処分・再資源化

○蛍光灯ランプ○HIDランプ・()

「水銀廃棄物ガイドライン」(第2版)(平成31年3月環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課)に基づき適切に処理すること。

・燃え殻・銲さい・ばいじん・汚泥

・廃酸・廃アルカリ

「水銀廃棄物ガイドライン」(第2版)(平成31年3月環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課)に基づき適切に処理すること。

・特別管理産業廃棄物の分析調査

調査範囲 図示(図面番号:)

・微量PCB、PCB含有シーリング材の分析調査

調査範囲 図示(図面番号:)

・廃油 適用箇所 図示(図面番号:)

・廃酸 適用箇所 図示(図面番号:)

・廃アルカリ 適用箇所 図示(図面番号:)

・サンプリング調査 調査範囲 図示(図面番号:)

解体方法及び処分方法

・()

・図示(図面番号:)

・銲さい・ばいじん・汚泥・廃酸・廃アルカリ

「水銀廃棄物ガイドライン」(第2版)(平成31年3月環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課)に基づき適切に処理すること。

・廃水銀(特定施設において生じたもの)・廃水銀化合物

・廃水銀(水銀使用製品が産業廃棄物となったもの等から回収したもの)

「水銀廃棄物ガイドライン」(第2版)(平成31年3月環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課)に基づき適切に処理すること。

石綿含有建材の事前調査

工事着手に先立ち、石綿含有建材の使用について、目視、設計図書及び貸与資料等により書面調査及び現地調査し、監督職員に報告すること。

調査範囲(○設計図書すべて・図示)

貸与資料(○石綿有無の調査報告書・)

・分析による石綿含有建材の調査

分析対象 アカシアライト、アモサイト、アンソライト、クリソタイド、クロソライト、トモライト

除去及び処理

②石綿粉じん濃度測定
(6.1.3)

3 石綿含有吹付け材の除去・処分
(6.3.2)
(6.3.3)

④石綿含有保温材等
(6.4.1)
(6.4.3)

⑤石綿含有成形板
(6.5.1)
(6.5.3)

⑥石綿含有仕上塗材
(6.6.1)
(6.6.4)

⑦除去等作業の結果報告

⑦特殊な建設副産物の処理

分析調査

・行う 調査範囲 図示(図面番号:)

・行わない

特殊な建設副産物の種類等

種類	適用箇所	回収及び処分
○フロン	空調機	○(改修及び破壊処理)
・ハロン		・()
		・()
		・()

冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編2.4.3)により、次の書類の写しを監督員に提出すること。

○フロン回収行程管理票

・特定家庭用機器廃棄物管理票(家電リサイクル券)

撤去する前にフロンを屋外機ユニットに集める作業(ポンプダウン)を行うこと。

パッケージ形空調機の移設等により、冷媒の回収が必要となる場合においても上記に準じて、冷媒の大気中への飛散を防止する措置を講じること。

当該工事を施工するに当たって施工時にフロン類の回収作業を行う場合はフロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(平成27年4月1日施行)等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収登録業者が行うこと。

NAGAOKA長岡設計

旧津市高茶屋保育園解体工事

解体工事特記仕様書-2

令和 年 月

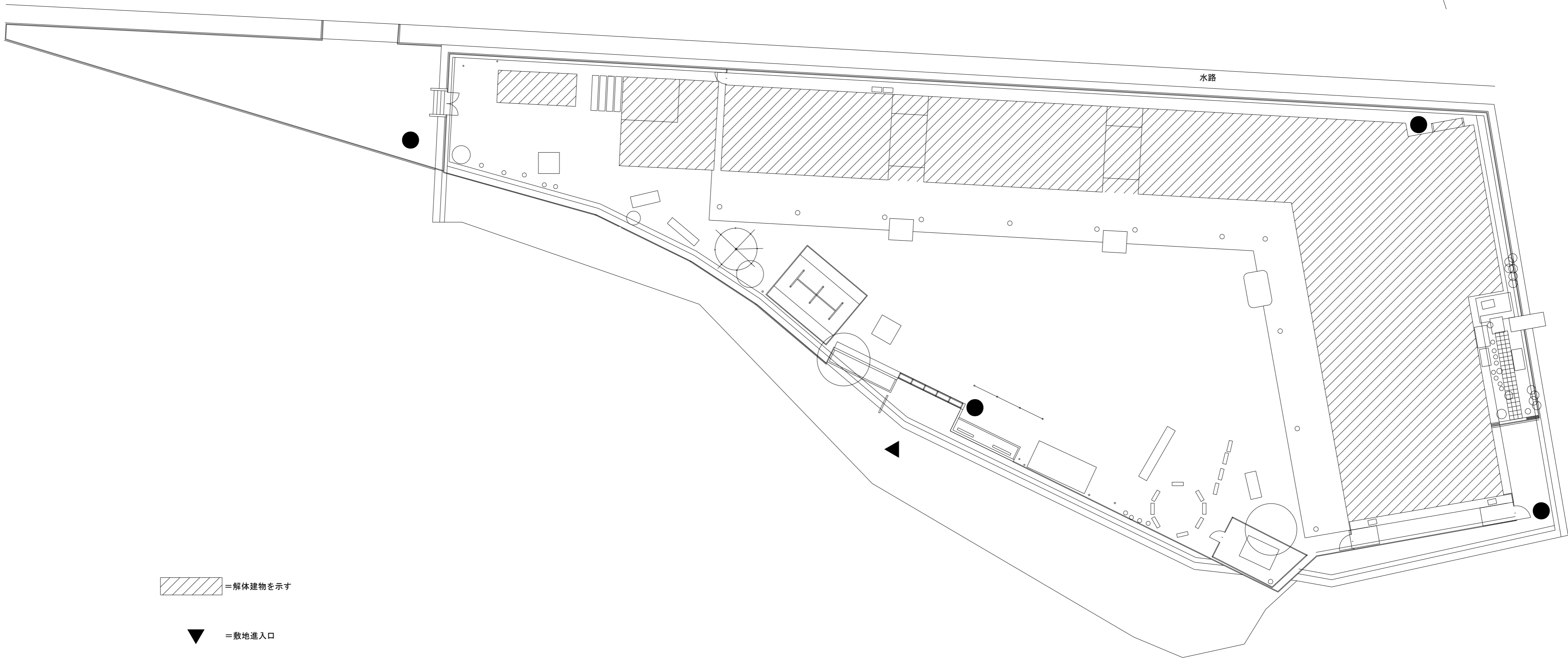
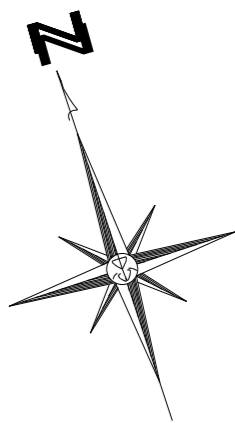
A-2 原図: A2




管理建築士 一般建築士第236153号 長岡 忠明

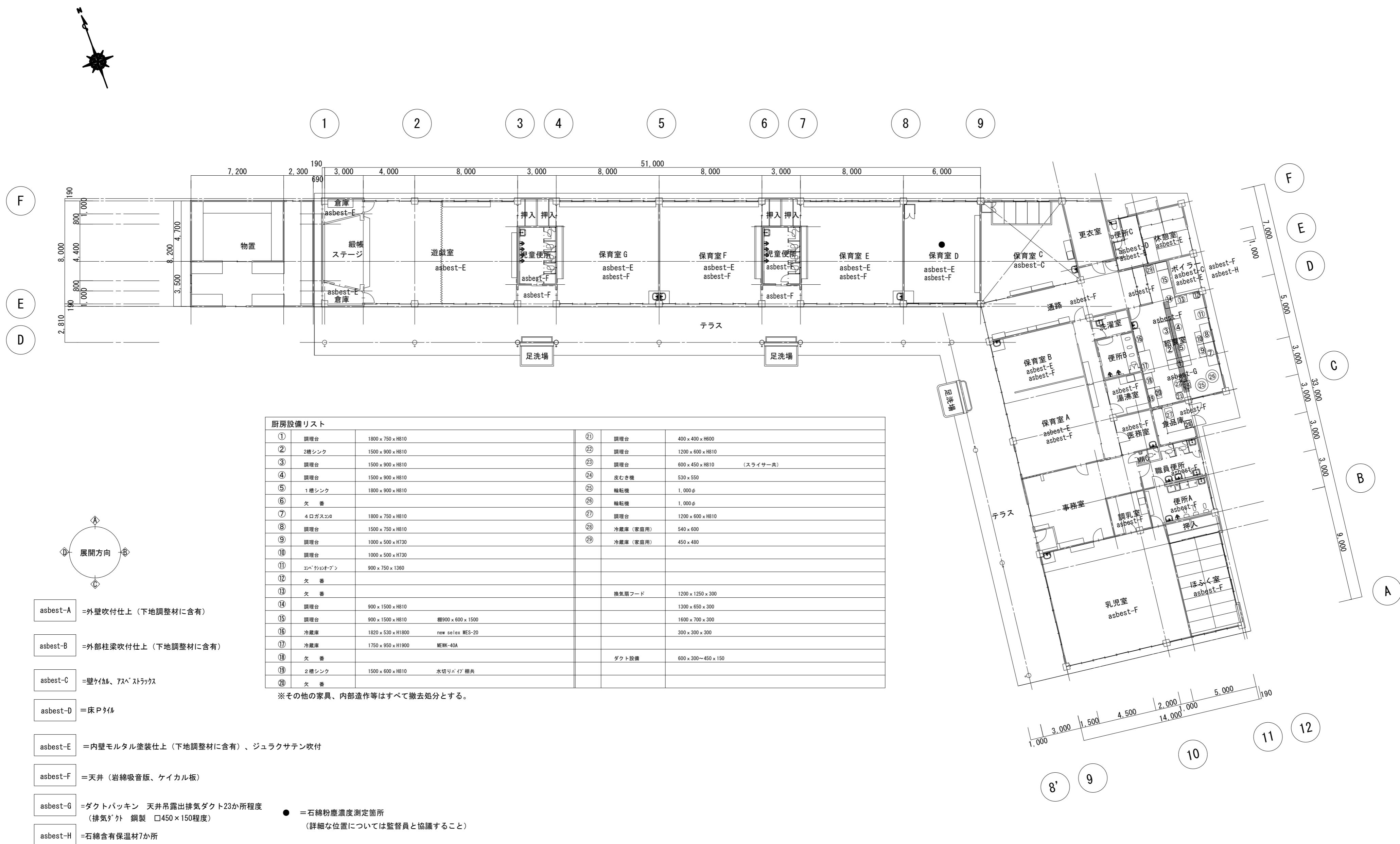
外部仕上表			
屋 根	本館：モルタル鍍磨き 塩ビシート防水 t＝1.5	その他外構	植樹、遊具（滑り台、ブランコ、砂場、その他）
	テラス屋根： 同上		排水溝、門扉 ㊦、門扉、フェンス、旗ポール、花壇
	底見付：モルタル刷毛引 屋外用ラフトン吹付 ㊦		足洗場：モザイクタイル、人研、モルタル鍍磨き
	軒天井：7スベストラック板 t＝8目透かし貼 アクリル系リシン吹付 ㊦ テラス天井：コンクリート打放し アクリル系リシン吹付		
外 壁	モルタル塗刷毛引アクリル系リシン吹付 一部目地切 ㊦		
	巾木：モルタル鍍磨き		
	テラス床：モルタル塗鍍磨き 目地切 犬走り：モルタル塗鍍磨き		
	テラス丸柱：モルタル塗鍍磨き 屋外用ラフトン吹付 ㊦		
開 口 部	アルミサッシュ（全てオーダー製品）70mm		
樋 その他	縦樋：硬質塩化ビニルパイプ（VU）内径100φ、70φ		
	足洗い場：人造石研ぎだし仕上（図示による）		
	天井換気口：硬質塩化ビニルパイプφ50防水網エルボ付		

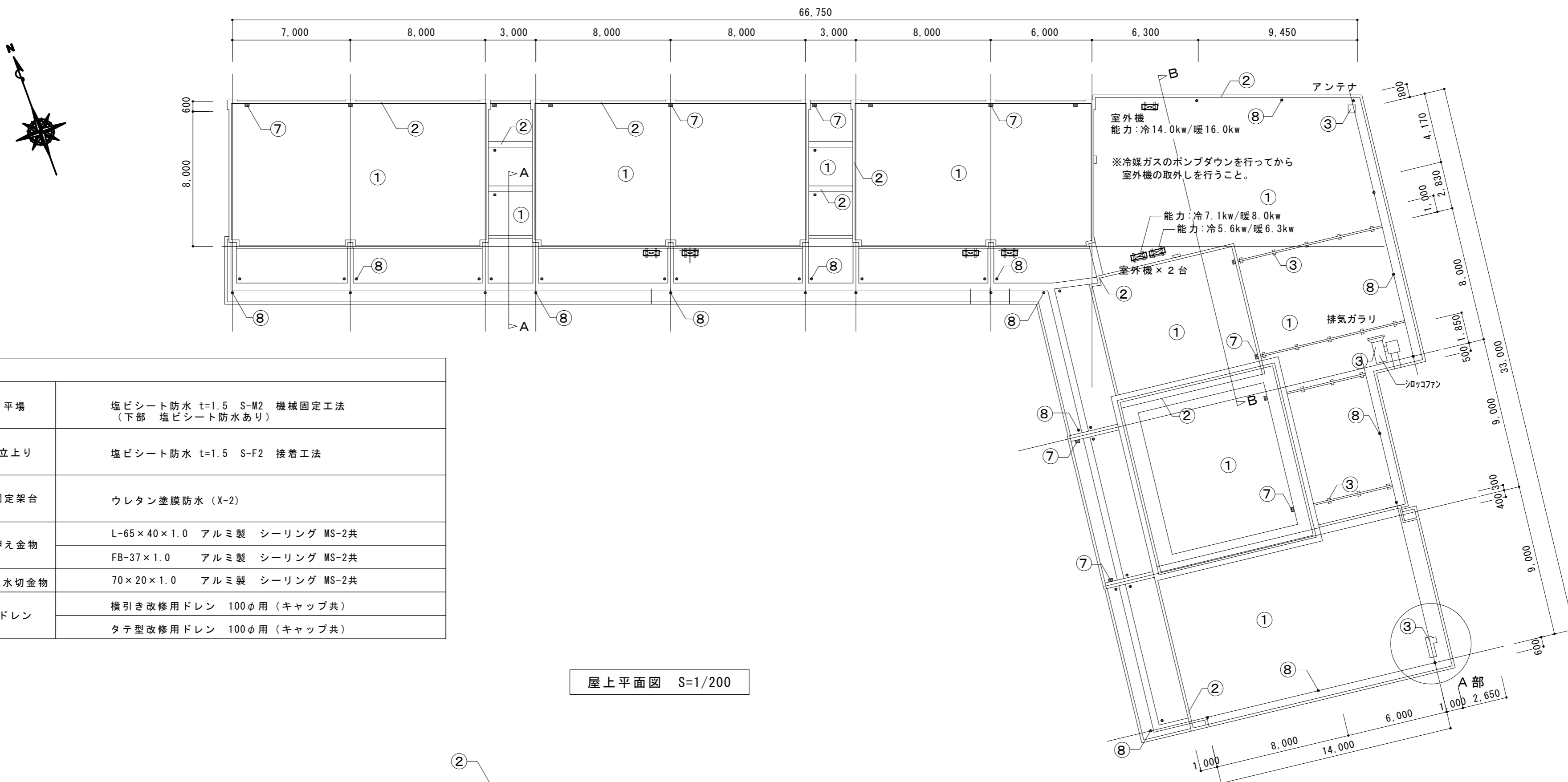
内部仕上表											
室 名	床		巾木		壁		天 井		廻り縁	天井高	備 考
	仕上材	塗装	仕上材	塗装	仕上材	塗装	仕上材	塗装			
事務室	寄木707- t＝15張		ソト巾木H100		PB t 9.5クロス		化粧石膏ボード		塩ビ	2600	下駄箱、棚、カチンレース、木製框
保育室A,B	寄木707- t＝15張		ラワンH100	SOP	PB t 9.5クロス モルタル塗装仕上 ㊦		ロックウール系吸音ボード600×300貼 ㊦		塩ビ	3150	パーティーション、カーテンボックス 手洗い器（腰100タイル床50モザイクタイル）
医務室	同上		同上	同上	モルタル刷毛引き クロス仕上		7スベストラックス ㊦		塩ビ	2600	手洗器（腰75角タイル、床40角タイル）
湯沸室	同上		同上	同上	PB t 9クロス、一部75角タイル		7スベストラックス ㊦	VP	塩ビ	2450	流し、調理台、ガス台 換気扇 吊戸棚 ダクト、フード
更衣室	同上		ソト巾木H60		PBt9.5クロス		ジブトン900×900		塩ビ	2500	
給食室	モルタル塗鍍磨き		100角タイル貼		同左	VP	7スベストラックス t＝6目透かし張 ㊦	VP	塩ビ	2880	厨房設備、ダクト設備 ㊦ 排水ビレット ハッチ、換気扇フード、手洗器
食品庫	同上		同左		モルタル鍍磨き		7スベストラックス t＝6目透かし張 ㊦		塩ビ	2500	中段：2段付
休憩室	畳 一部地板（ケヤキ）		畳寄せ		モルタル刷毛引き下地 ジュラクサテン吹付 ㊦		貼珪ペニヤ底目板張				
休憩室前室	モルタル下地Pタイル ㊦		ソト巾木H60		セラール 、モルタル塗装仕上 ㊦		ジブトン900×900		塩ビ	2380	化粧鏡、面台
押 入	耐水ベニヤ t＝9張		雑巾摺		耐水ベニヤ t＝5.5張		並ベニヤ板張				中段付
ほふく室	耐水ベニヤt＝9下地縁取り畳		畳寄せ		PB t 9クロス、一部75角タイル		ロックウール系吸音ボード600×300貼 ㊦		塩ビ	3000	
乳児室	寄木707- t＝15張		ラワン	SOP	PB t 9クロス、一部75角タイル		ロックウール系吸音ボード600×300貼 ㊦		塩ビ	2850	手洗器（腰75角タイル、床40角タイル） 戸棚、掲示板、手摺、防護手摺
調乳室	寄木707- t＝15張		100角タイル貼		同左		7スベストラックス t＝6目透かし張 ㊦	VP	塩ビ	2500	流し、調理台、ガス台、フード、 ダクト、吊戸棚 、スロア板
便所A	モルタル下地707-塗装 （TB框）		同上		同左		同上 ㊦	同上	塩ビ	2500	洋式便器、スロー、汚物流し、手洗器 バス、吊戸棚、堅配管（60φ）対峙 手摺
保育室E,F,G	寄木707- t＝15張		ラワン	SOP	耐水ベニヤ t＝5.5、ビニルクロス貼 モルタル塗装仕上 ㊦		ロックウール系吸音ボード600×300貼 ㊦		塩ビ	3130	手洗器（腰75角タイル、床40角タイル） 用具棚、児童ロッカー、スチール黒板
乳児室、保育室 押入	耐水ベニヤ t＝9張		雑巾摺		耐水ベニヤ t＝5.5張		並ベニヤ板張				中段2段付
遊戯室	寄木707- t＝15張		ラワン	SOP	耐水ベニヤ t＝5.5、ビニルクロス貼 モルタル塗装仕上 ㊦		耐水707ベニヤ t＝4張 クロス貼 梁型：モルタル鍍磨き ラフトン吹付 ㊦		塩ビ	3500	垂壁、707ベニヤカーテン、カーテンボックス、 用具棚、スチール黒板（アルミ枠）
ステージ	ならがしフローリング張	CSV	貼物	CL	耐水ベニヤ t＝5.5 クロス貼		PB t＝9目透かし張	VP	塩ビ	3100	緞帳
保育室C	寄木707- t＝15張		ラワン	SOP	PB t 9クロス、ケイカル塗装仕上 ㊦		PB t＝9目クロス貼	VP	塩ビ	2500	化粧鏡、吊戸棚、手洗器、棚、 流し台
保育室D	寄木707- t＝15張		ラワン	SOP	耐水ベニヤ t＝5.5、ビニルクロス貼 一部75角タイル（木製見切縁） モルタル塗装仕上 ㊦		ロックウール系吸音ボード600×300貼 ㊦		塩ビ	3130	手洗器（腰75角タイル、床40角タイル） 用具棚、児童ロッカー、スチール黒板
ボイラー室	モルタル塗鍍磨き		同左		7スベストラックス ㊦、CBタイル モルタル塗装仕上 ㊦		7スベストラックス t＝6目透かし張 ㊦				電気温水器
通 路	モルタル塗鍍磨き		モルタル塗鍍磨き		モルタル刷毛引き リシン吹付		7スベストラックス t＝6目透かし張 ㊦		塩ビ	2550	木製棚（5台） パランシヤカー（BOX付） 掲示板
職員便所	モルタル下地707-塗装		75角タイル貼		同左		7スベストラックス t＝6目透かし張 ㊦	VP	塩ビ	2450	洗面器、洗濯機パン、トイレース掃除流し
児童便所	40角モザイクタイル		同上		同左		7スベストラックス t＝6目透かし張 ㊦		塩ビ	2800	便器、トイレース、手洗器、換気扇
ｽﾏｰｼﾝｸﾞ倉庫、控室	ぶなフローリング張	OSV	ラワン	SOP	耐水ベニヤ t＝5.5目透かし張 モルタル塗装仕上 ㊦		PB t＝9目透かし張	VP	塩ビ	2500	スチール棚
便所B	一部モルタル鍍磨き（SUS見切） モルタル下地塩ビ長尺シート		ソト巾木H60		セラール		ジブトン900		塩ビ	2700	堅配管（60φ） 化粧鏡、トイレース、幼児手洗器
便所C	40角モザイクタイル貼		100角タイル		100角タイル		ジブトン900		塩ビ	2500	
男子職員便所	40角モザイクタイル貼		100角タイル		100角タイル		7スベストラックス t＝6目透かし張 ㊦		塩ビ	2460	

石綿含有仕上塗材：（外部）屋外用ラフトン、アクリル用リシン吹付・（内部）モルタル塗装仕上、ジュラクサテン吹付の除去については、敷地周辺の住環境に十分配慮し、湿式工法である集じん装置付超高压水洗工法（100MPa以上）及び湿式集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法にて行うこと。手洗器にはすべて化粧台、鏡付とする
処理水は分析を行い、基準値以下であることを確認し放流すること。



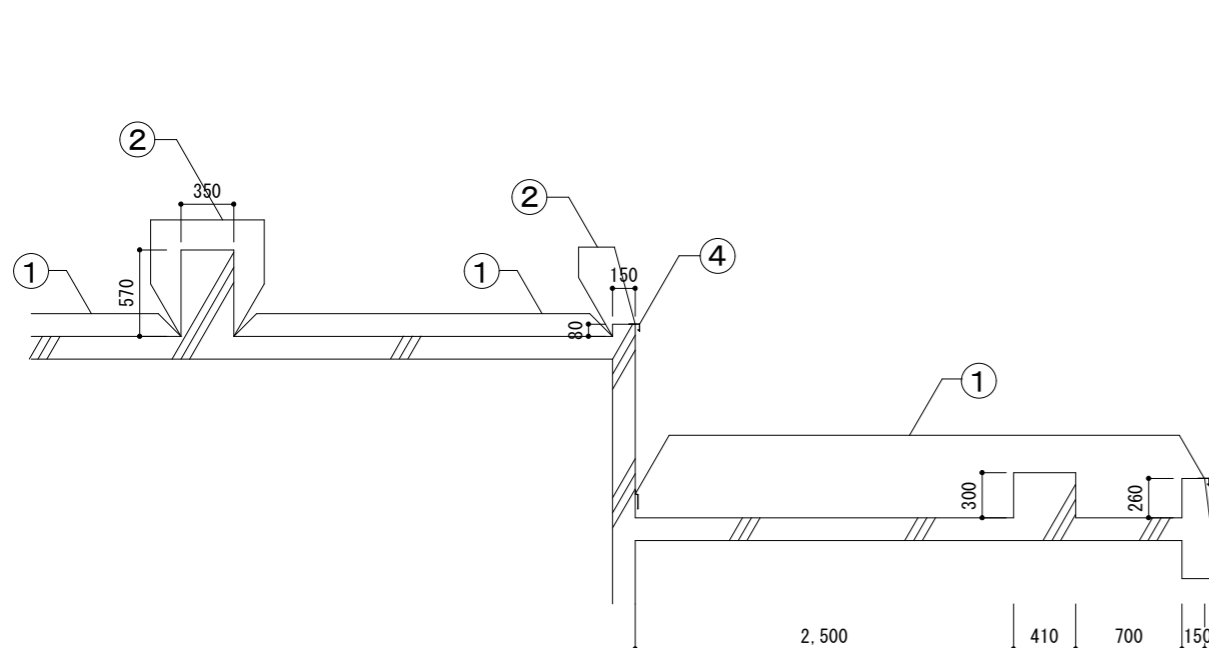
-  =解体建物を示す
-  =敷地進入口
-  =石棉粉塵濃度測定箇所
(詳細な位置については監督員と協議すること)



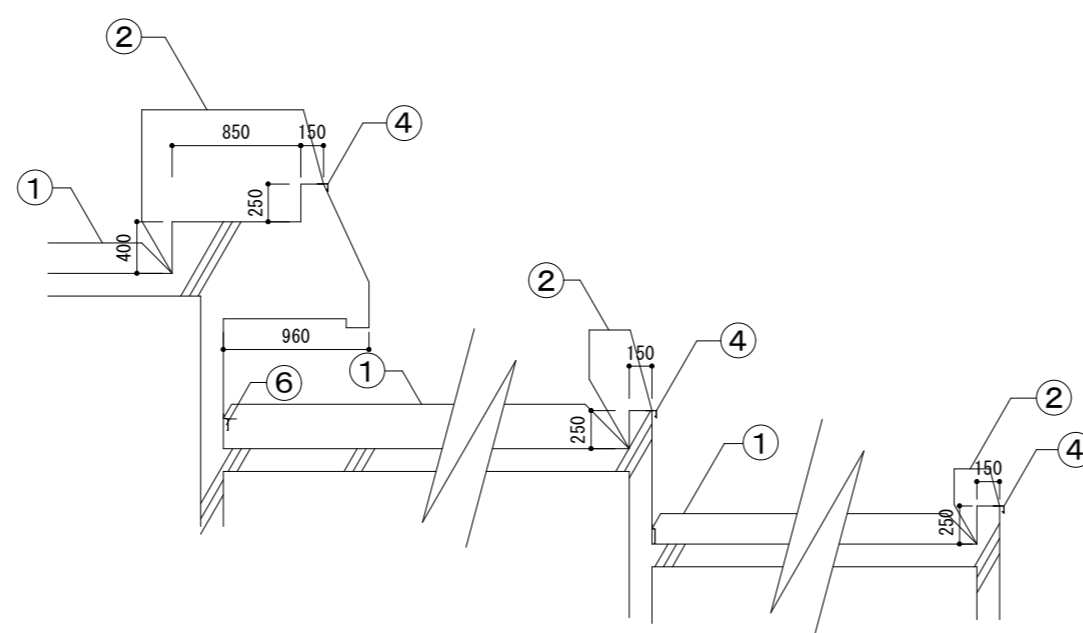


凡 例		
①	平 場	塩ビシート防水 t=1.5 S-M2 機械固定工法 (下部 塩ビシート防水あり)
②	立 上 り	塩ビシート防水 t=1.5 S-F2 接着工法
③	固定架台	ウレタン塗膜防水 (X-2)
④	押 え 金 物	L-65×40×1.0 アルミ製 シーリング MS-2共
⑤		FB-37×1.0 アルミ製 シーリング MS-2共
⑥	2重水切金物	70×20×1.0 アルミ製 シーリング MS-2共
⑦	ドレン	横引き改修用ドレン 100φ用 (キャップ共)
⑧		タテ型改修用ドレン 100φ用 (キャップ共)

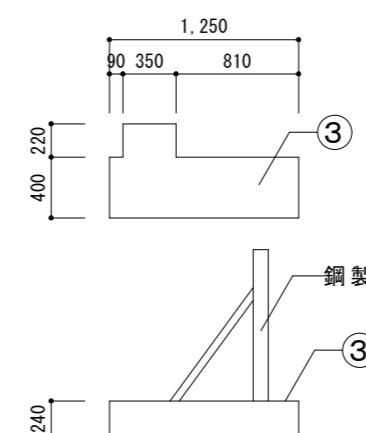
屋上平面図 S=1/200



A-A 部分詳細図 S=1/50

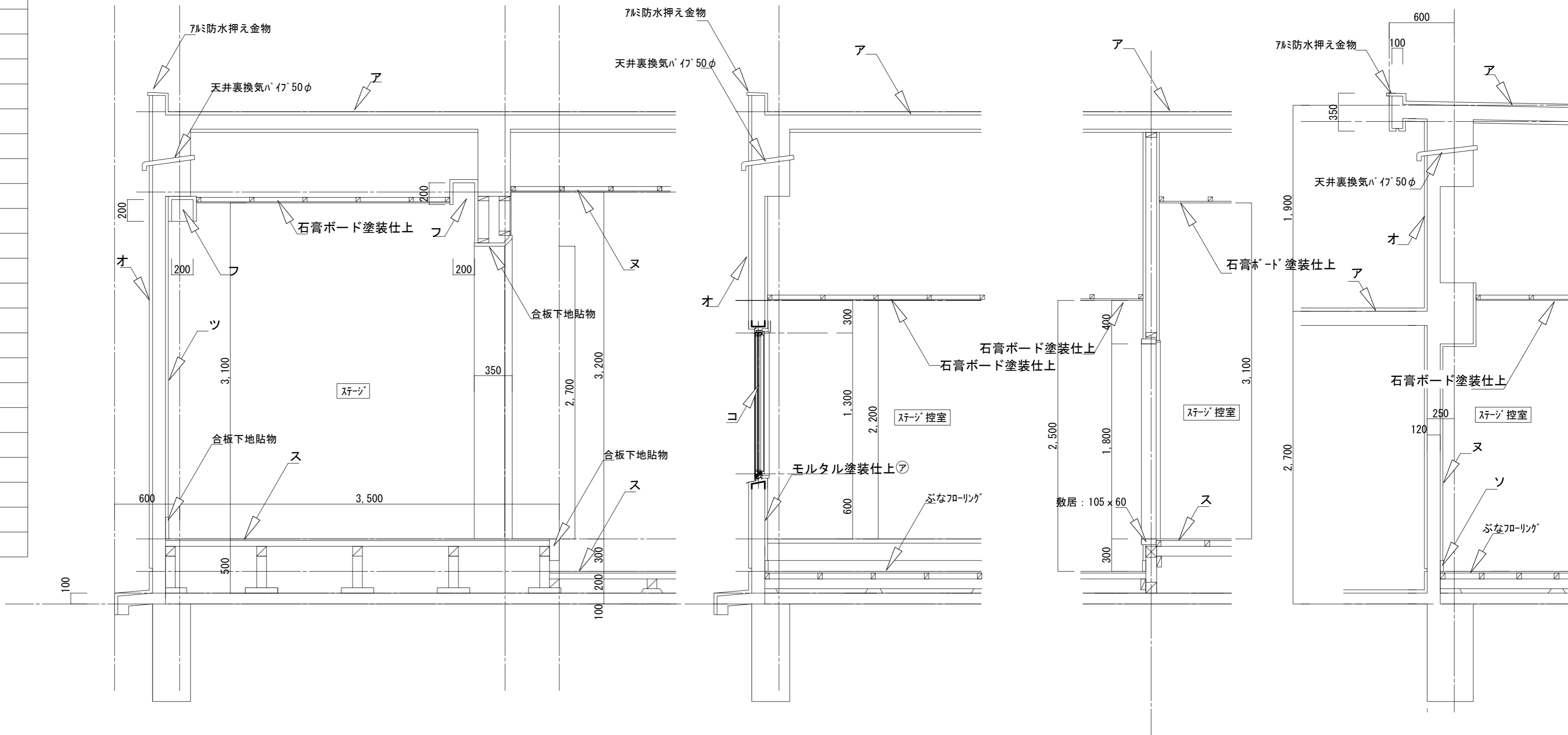


B-B 部分詳細図 S=1/50

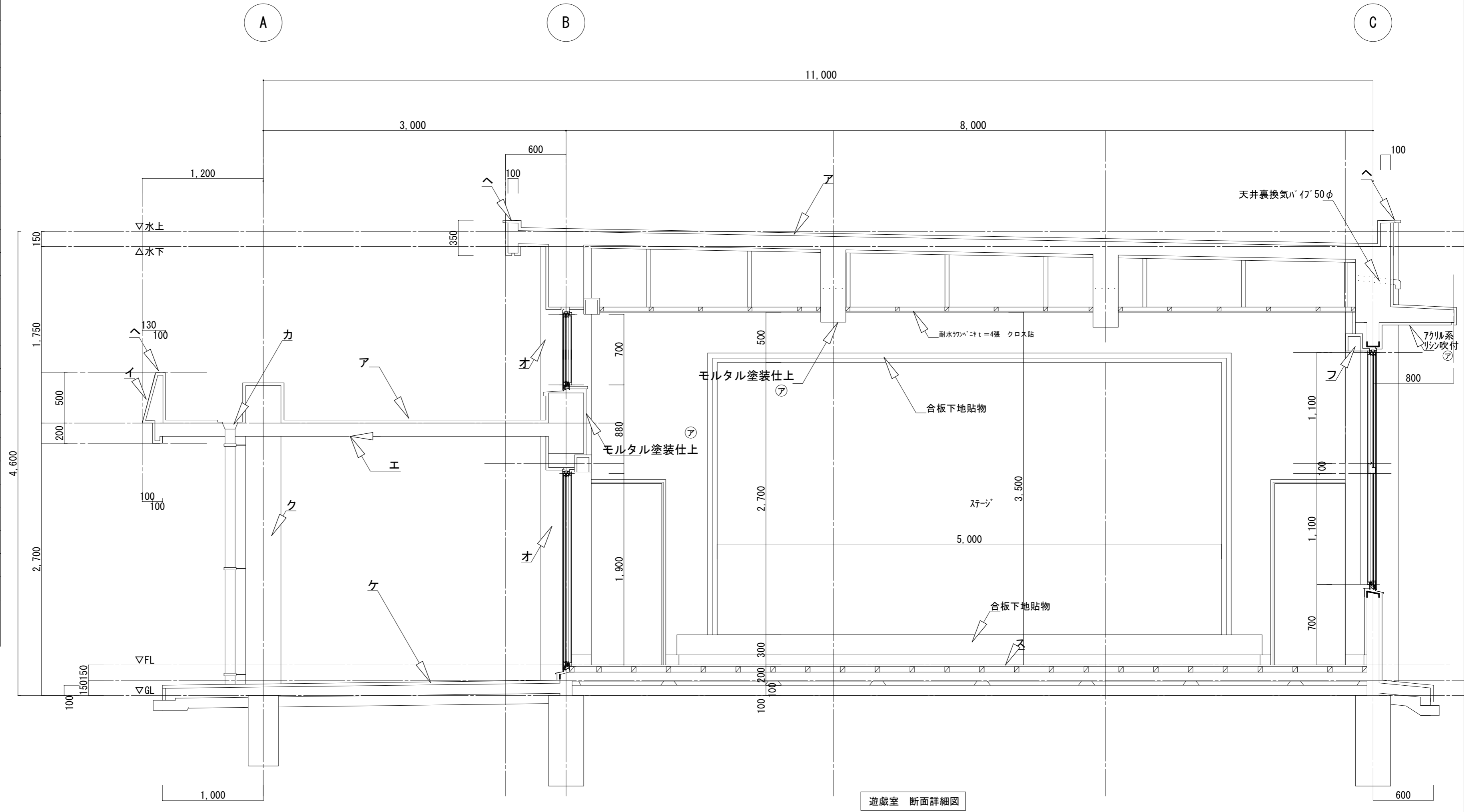


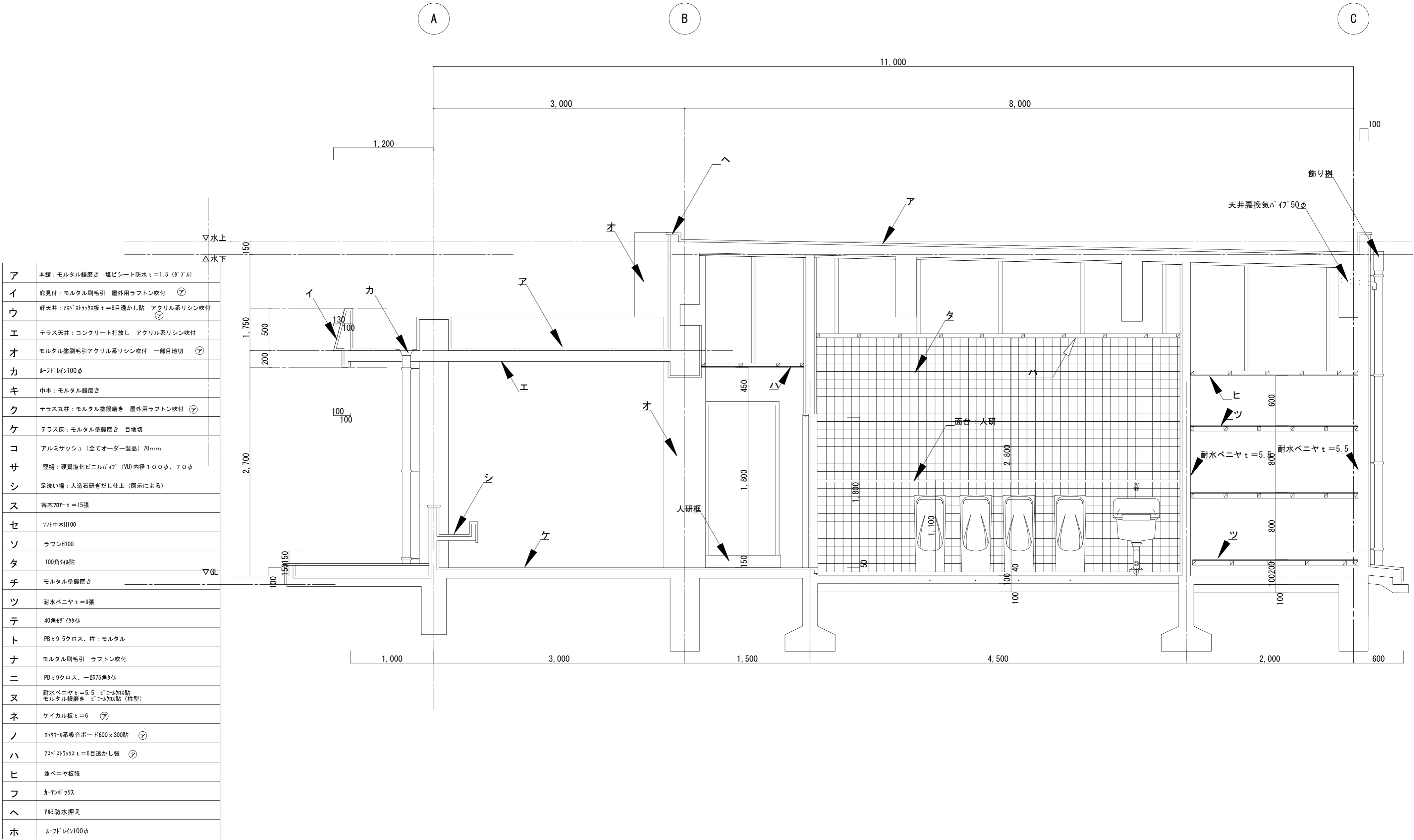
A 部詳細図 1/50

ア	本館：モルタル鍍磨き 塩ビシート防水 $t=1.5$ (ﾀﾞﾌﾞﾙ)
イ	庇見付：モルタル刷毛引 屋外用ラフтон吹付 ㊦
ウ	軒天井：7ｽﾍﾞｽﾄﾗｯｸｽ板 $t=8$ 目透かし貼 アクリル系リシン吹付 ㊦
エ	テラス天井：コンクリート打放し アクリル系リシン吹付
オ	モルタル塗刷毛引アクリル系リシン吹付 一部目地切 ㊦
カ	ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ100φ
キ	巾木：モルタル鍍磨き
ク	テラス丸柱：モルタル塗鍍磨き 屋外用ラフтон吹付 ㊦
ケ	テラス床：モルタル塗鍍磨き 目地切
コ	アルミサッシュ (全てオーダー製品) 70mm
サ	壁廻：硬質塩化ビニﾙﾊﾞｲﾌﾞﾙ (VU) 内径100φ、70φ
シ	足洗い場：人造石研ぎだし仕上 (図示による)
ス	寄木ﾌﾛｱ- $t=15$ 張
セ	ﾌｯﾄ巾木H100
ソ	ラウンH100
タ	100角ﾀｲﾙ貼
チ	モルタル塗鍍磨き
ツ	耐水ベニヤ $t=9$ 張
テ	40角ﾀｲﾌﾞﾙ
ト	PB $t=9.5$ クロス、柱：モルタル
ナ	モルタル刷毛引 ラフтон吹付
ニ	PB $t=9$ クロス、一部75角ﾀｲﾙ
ヌ	耐水ベニヤ $t=5.5$ ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 モルタル鍍磨き ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 (柱型)
ネ	ｹｲｶﾙ板 $t=6$ ㊦
ノ	ﾛｯｸｹﾞﾙ系吸音ﾎｰﾄﾞ600×300貼 ㊦
ハ	7ｽﾍﾞｽﾄﾗｯｸｽ $t=6$ 目透かし張 ㊦
ヒ	並ベニヤ板張
フ	ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞｯｸｽ
ヘ	7ﾐﾐ防水押え
ホ	ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ100φ

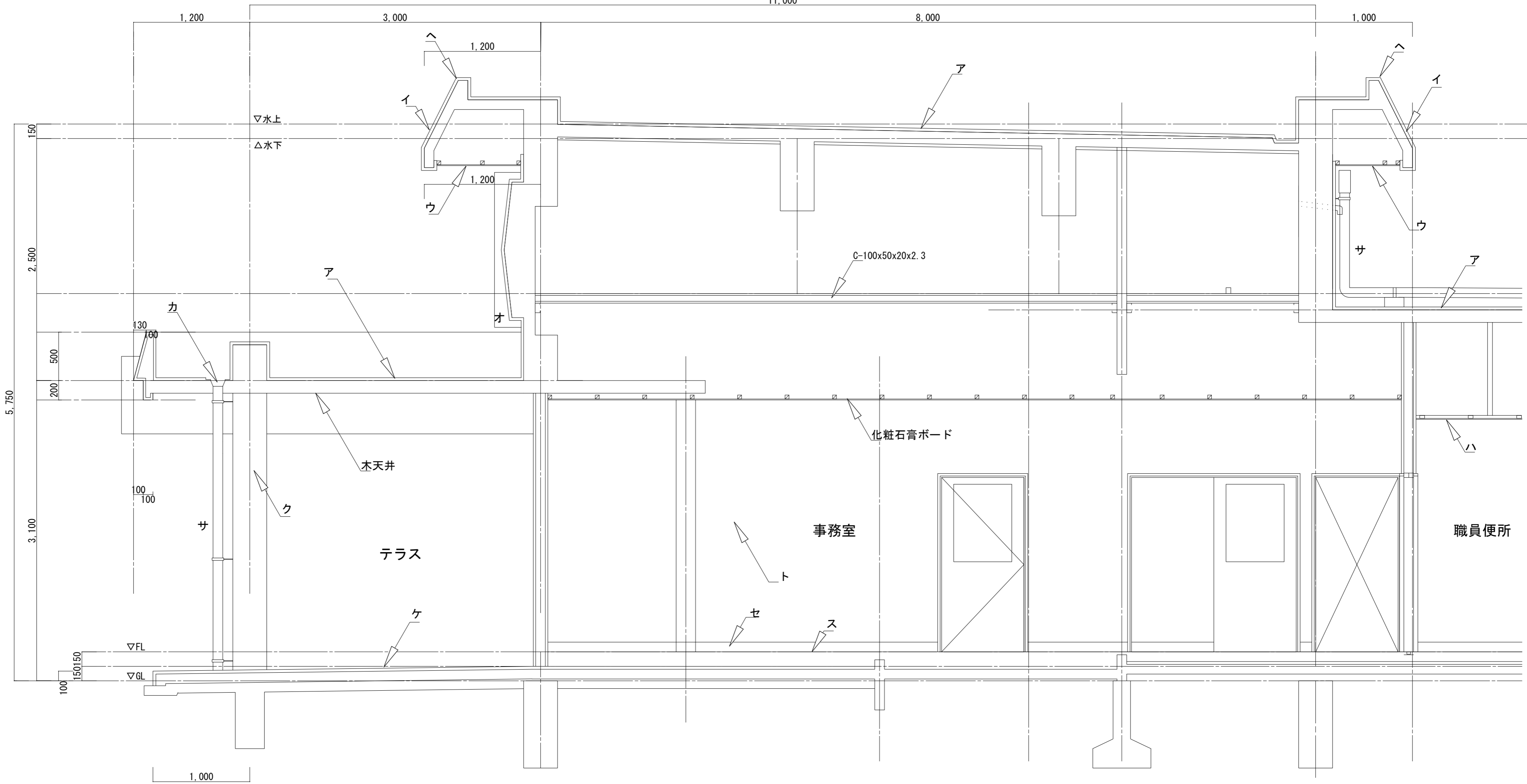


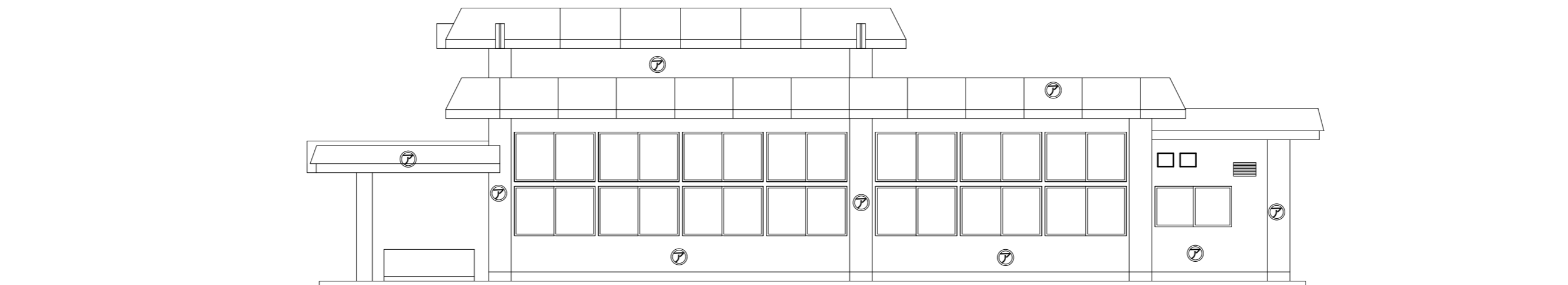
ア	本館：モルタル鏡磨き 塩ビシート防水 t＝1.5 (ﾀﾞﾌﾞﾙ)
イ	庇見付：モルタル刷毛引 屋外用ラフトン吹付 ㊦
ウ	軒天井：ｱｽﾍﾞｽﾄﾗｯｸｽ板 t＝8目透かし貼 アクリル系リシン吹付 ㊦
エ	テラス天井：コンクリート打放し アクリル系リシン吹付
オ	モルタル塗刷毛引アクリル系リシン吹付 一部目地切 ㊦
カ	ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ100φ
キ	巾木：モルタル鏡磨き
ク	テラス丸柱：モルタル塗鏡磨き 屋外用ラフトン吹付 ㊦
ケ	テラス床：モルタル塗鏡磨き 目地切
コ	アルミサッシュ (全てオーダー製品) 70mm
サ	縦樋：硬質塩化ビニﾙﾊﾞｲﾌﾟ (VU) 内径100φ、70φ
シ	足洗い場：人造石研ぎだし仕上 (図示による)
ス	寄木ﾌﾗｯｸﾞ t＝15張
セ	ｼｯﾄ巾木H100
ソ	ラウンH100
タ	100角ﾀｲﾙ貼
チ	モルタル塗鏡磨き
ツ	耐水ベニヤ t＝9張
テ	40角ﾀｲﾌﾞﾙﾀｲﾙ
ト	PB t 9.5クロス、柱：モルタル
ナ	モルタル刷毛引 ラフトン吹付
ニ	PB t 9クロス、一部75角ﾀｲﾙ
ヌ	耐水ベニヤ t＝5.5 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 モルタル鏡磨き ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 (柱型)
ネ	ケイカル板 t＝6 ㊦
ノ	ﾛｯｸｳｰﾙ系吸音ﾎｰﾄﾞ600 x 300貼 ㊦
ハ	ｱｽﾍﾞｽﾄﾗｯｸｽ t＝6目透かし張 ㊦
ヒ	並ベニヤ板張
フ	ｶｰﾍﾞﾝﾄﾞ ｳｯｽﾞ
ヘ	ｱﾙﾐ防水押え
ホ	ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ100φ



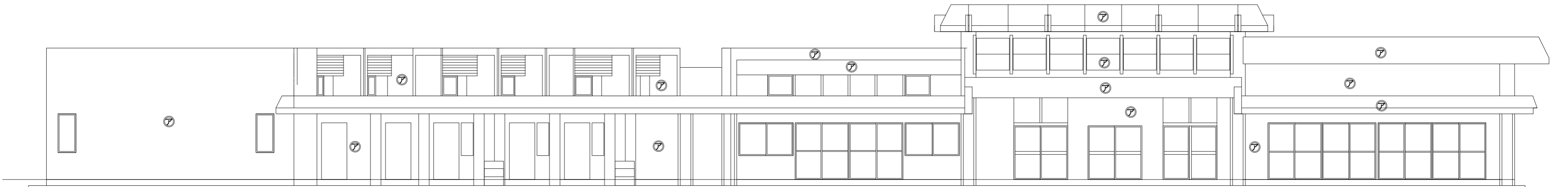


ア	本館：モルタル鍍磨き 塩ビシート防水 t=1.5 (ﾀﾞﾌﾞﾙ)	サ	壁樋：硬質塩化ビニルﾊﾞｲﾌﾞ (VU)内径100φ、70φ	ナ	モルタル刷毛引 ラフトン吹付
イ	庇見付：モルタル刷毛引 屋外用ラフトン吹付 ㊦	シ	足洗い場：人造石研ぎだし仕上 (図示による)	ニ	PB t9クロス、一部75角ﾀｲﾙ
ウ	軒天井：ﾌｽﾍﾞｽﾄﾗｯｸｽ板 t=8目透かし貼 アクリル系リシン吹付㊦	ス	寄木ﾌﾛｱ t=15張	ヌ	耐水ベニヤ t=5.5 ｼﾞﾋﾞﾐﾅﾐﾅ貼 モルタル鍍磨き ｼﾞﾋﾞﾐﾅﾐﾅ貼 (柱型)
エ	テラス天井：コンクリート打放し アクリル系リシン吹付	セ	ﾌﾛｱ巾木H100	ネ	ケイカル板 t=6 ㊦
オ	モルタル塗刷毛引アクリル系リシン吹付 一部目地切 ㊦	ソ	ラワンH100	ノ	ﾛｯｸﾎｰﾙ系吸音ﾎｰﾄﾞ600x300貼 ㊦
カ	ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ100φ	タ	100角ﾀｲﾙ貼	ハ	ﾌｽﾍﾞｽﾄﾗｯｸｽ t=6目透かし張 ㊦
キ	巾木：モルタル鍍磨き	チ	モルタル塗鍍磨き	ヒ	並ベニヤ板張
ク	テラス丸柱：モルタル塗鍍磨き 屋外用ラフトン吹付 ㊦	ツ	耐水ベニヤ t=9張	フ	ｶｰﾎﾞﾝﾌｯｸｽ
ケ	テラス床：モルタル塗鍍磨き 目地切	テ	40角ﾃﾞｲｸﾀｲﾙ	ヘ	ﾌﾙﾏｽ防水押え
コ	アルミサッシュ (全てオーダー製品) 70mm	ト	PB t9.5クロス、柱：モルタル		





南立面図



西立面図



東立面図

ジョイントボックス
(対-F製)

250x250x150-1箇所 (SUS製)
200 x 200 x 150-6ヶ所

プレートボックス
(対-F製)

500 x 1000 x 190
500 x 1000 x 200
400 x 300 x 190
450 x 400 x 200
200 x 400 x 190
250 x 450 x 200

7 = 7x7' 寸含有

NAGAOKA
一級建築士事務所

長岡 設計

旧津市高茶屋保育園解体工事

立面図-1

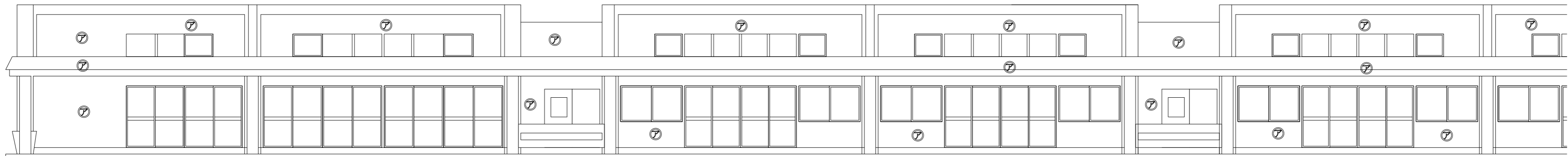
1/100

令和 年 月

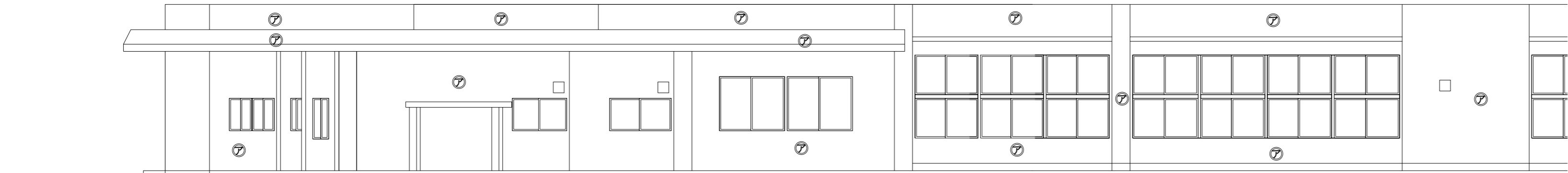
A-13

原図：A2

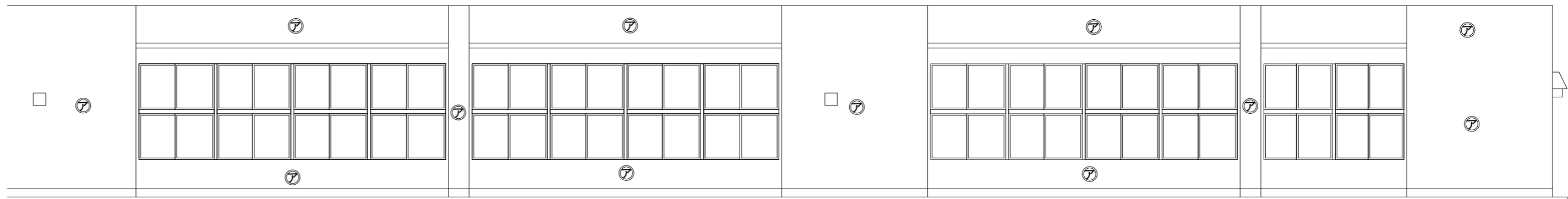
管理建築士 一級建築士第236153号 長岡 忠明



南立面図



北立面図



北立面図

⑦=72[^] 寸含有

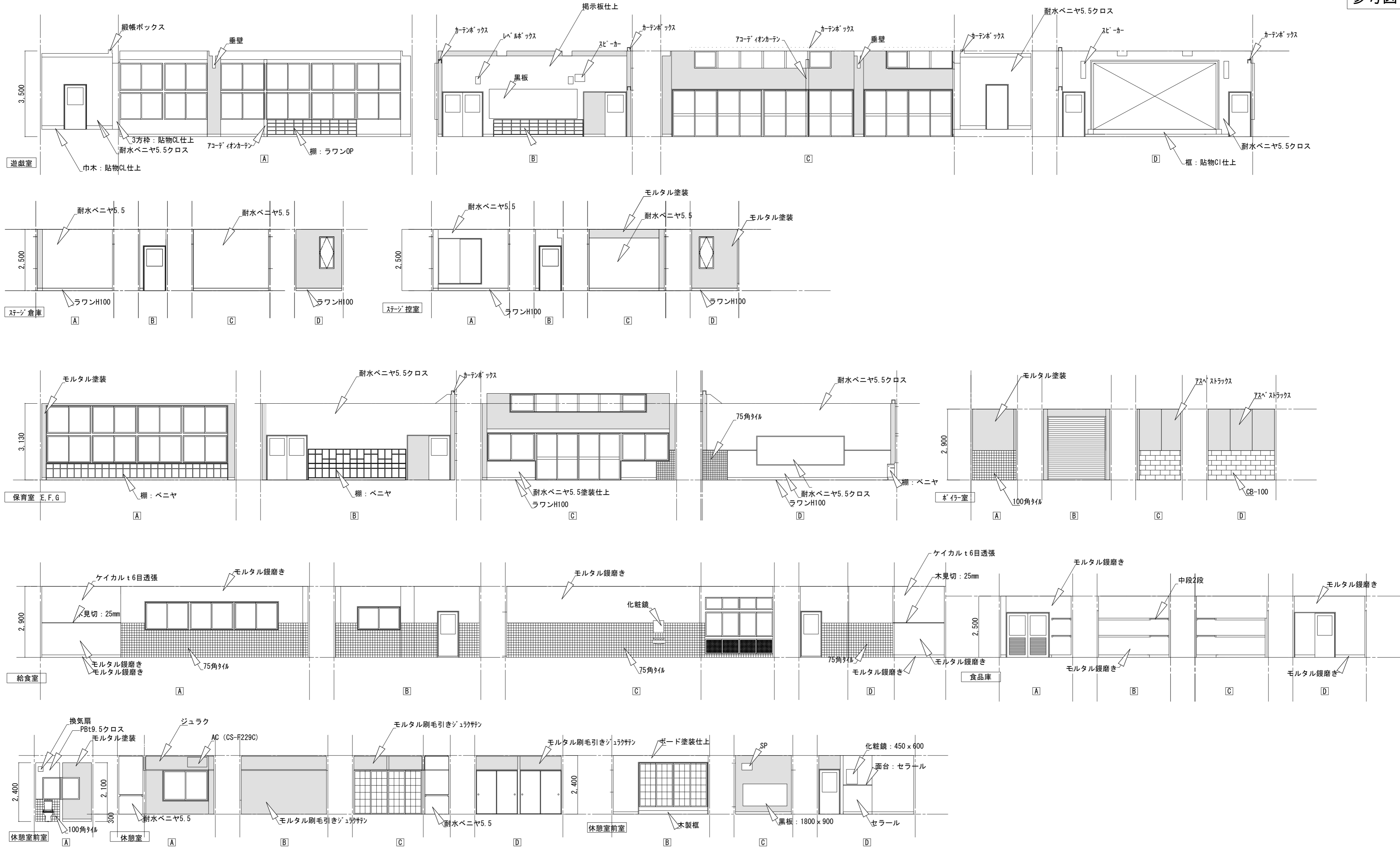
NAGAOKA
一般建築士事務所

長岡 設計

旧津市高茶屋保育園解体工事

立面図-2 1/100

令和	年	月
A-14		原図：A2
管理建築士	一級建築士第236153号	長岡 忠明



○=75°以上含有 範囲を示す
成形板以外の75°以上除去については、敷地周辺の住環境に十分配慮し、湿式工法である集じん装置付超高压水洗工法（100MPa以上）及び
湿式集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法にて行うこと。処理水は分析を行い、基準値以下であることを確認し放流すること。

NAGAOKA
一級建築士事務所

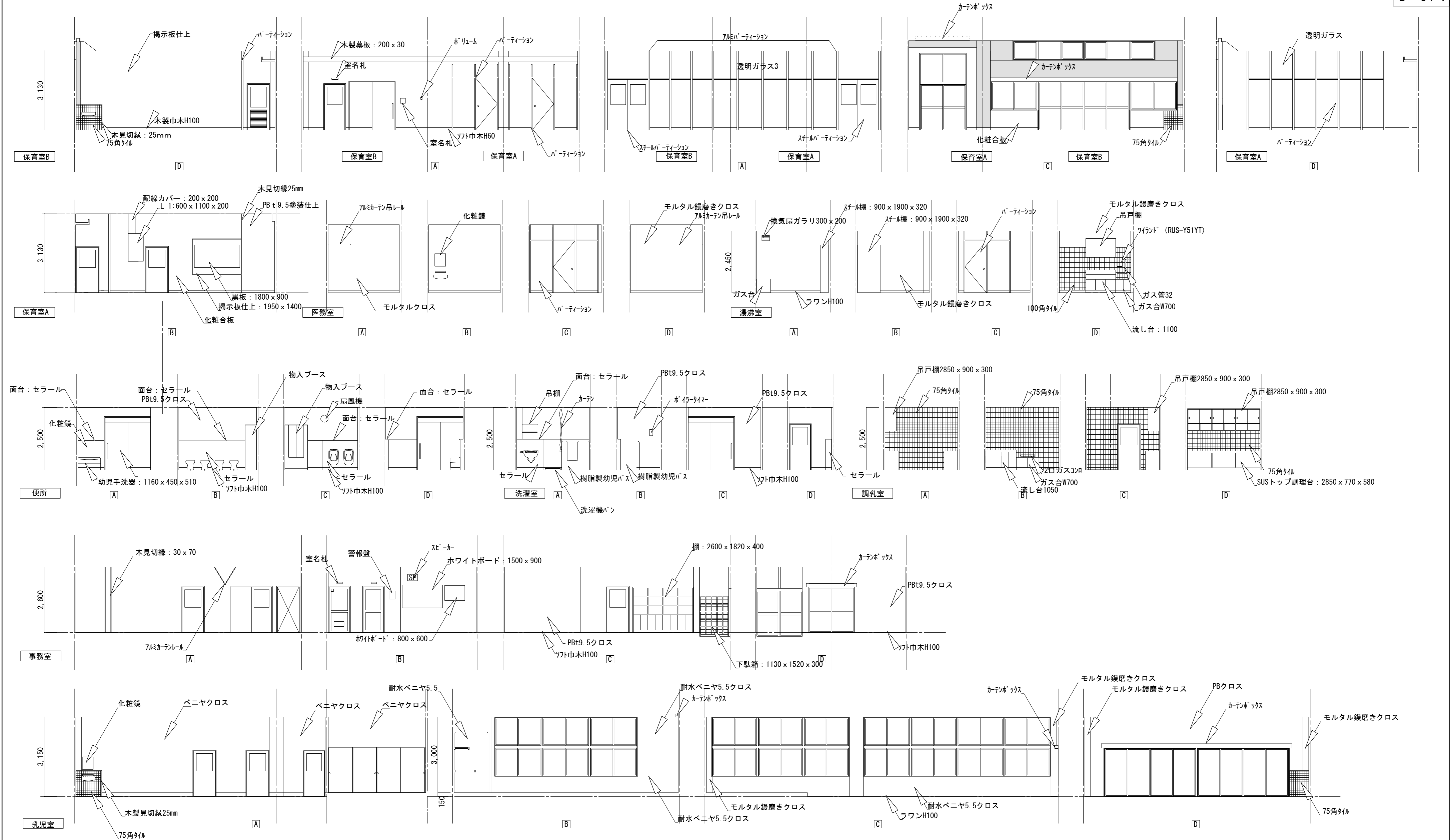
長岡 設計

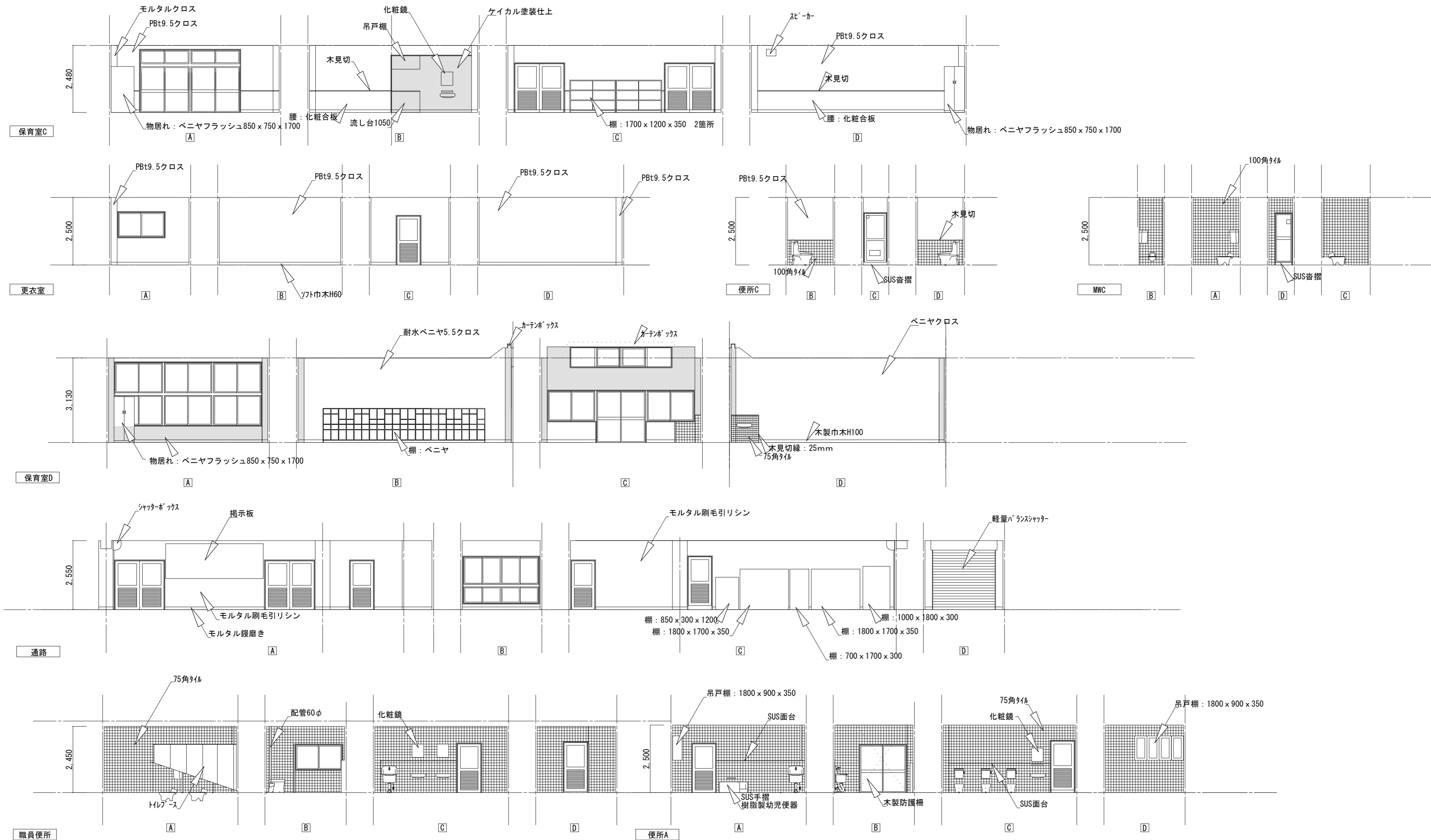
旧津市高茶屋保育園解体工事

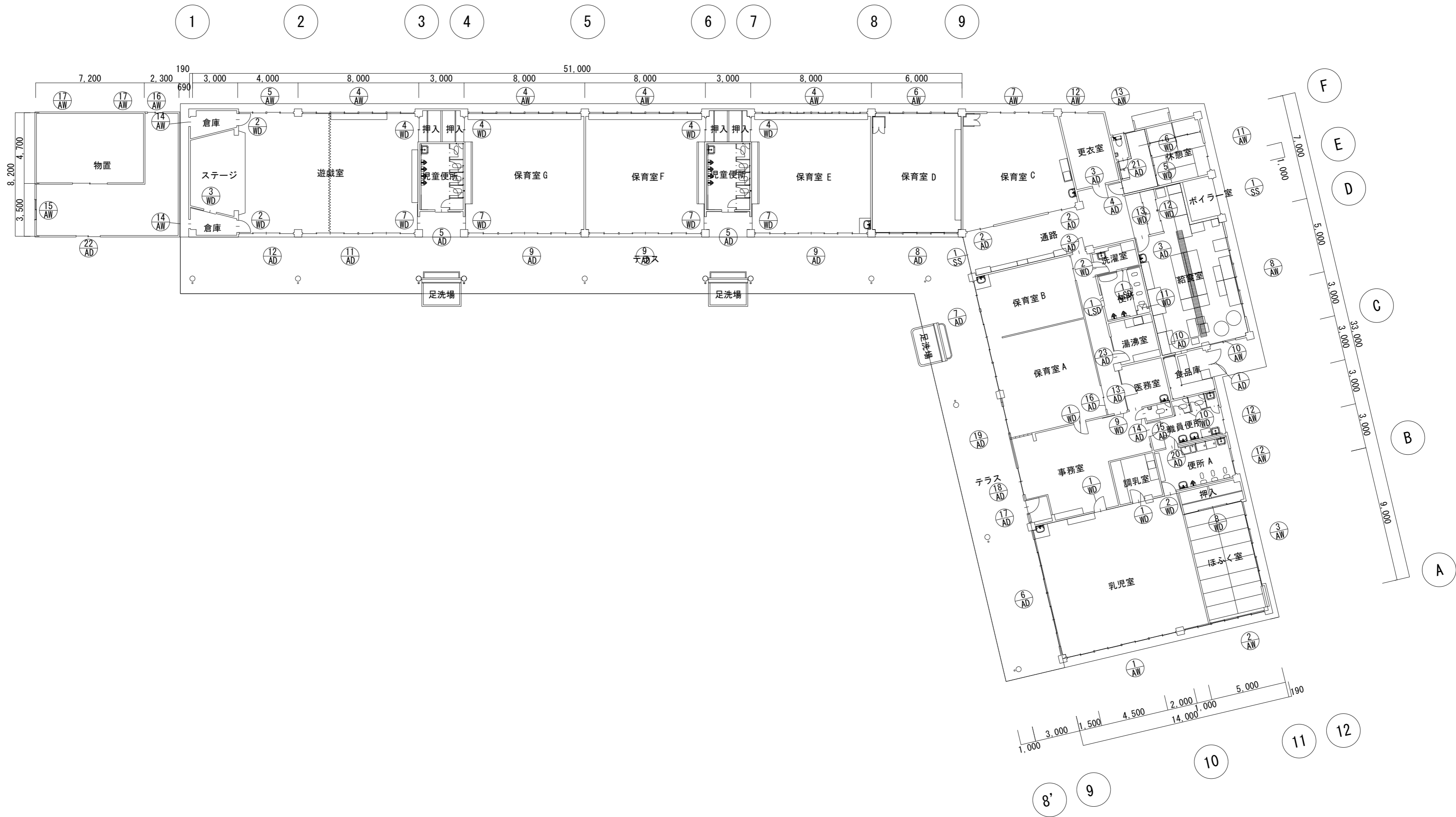
展開図-1

1/100

令和 年 月
A-15 原図：A2
管理建築士 一級建築士第236153号 長岡 忠明





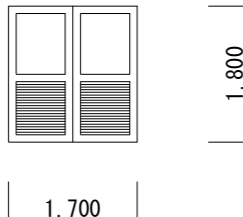
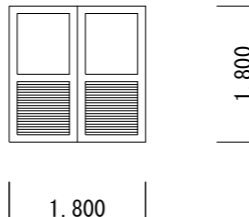

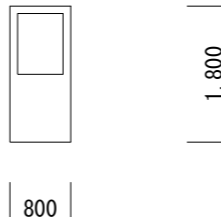
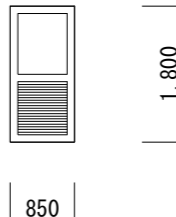
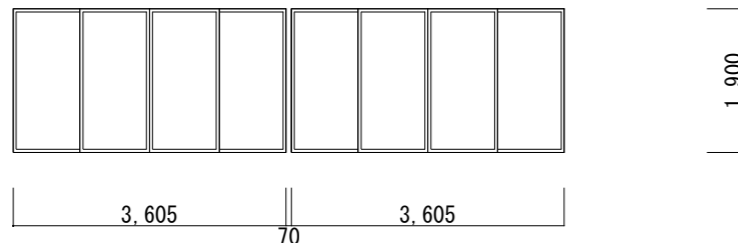
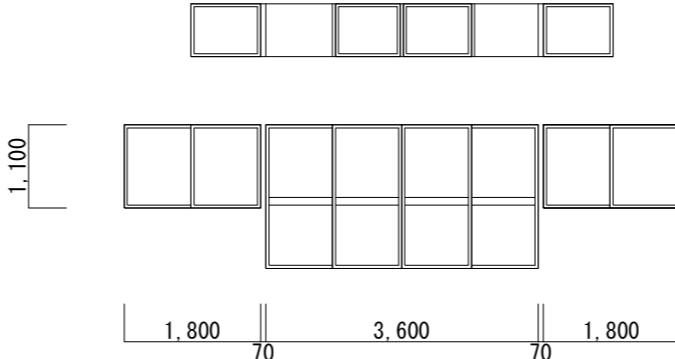
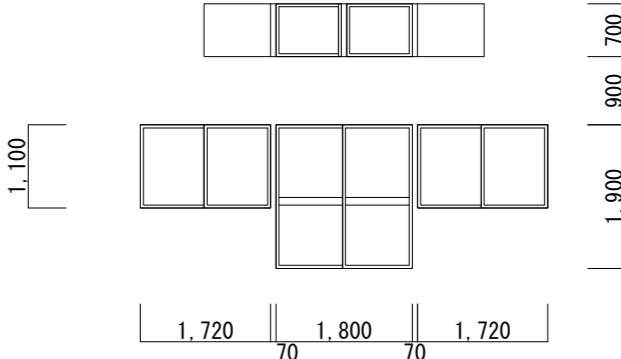
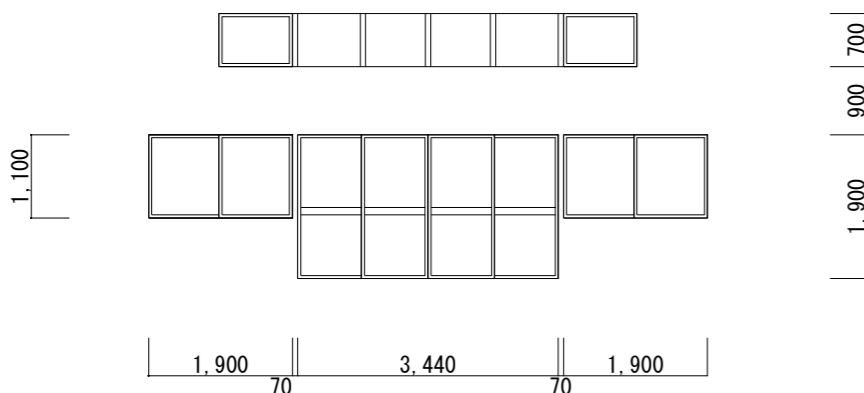
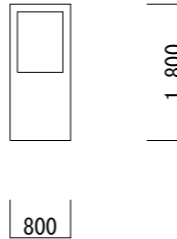
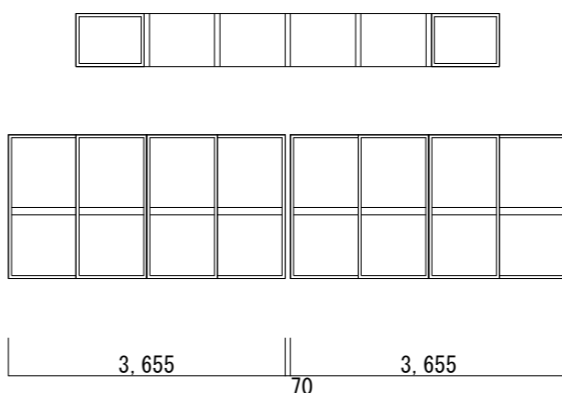
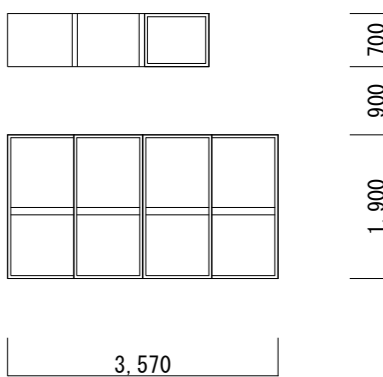


建 具 表

室名・符号・箇所	① AW	乳児室	1	② AW	ほふく室	1	③ AW	ほふく室	1	④ AW					4						
姿図																					
形式	2段4連引き違いガラス窓			2段3連ガラス窓			←			2段4連引き違いガラス窓											
仕上	アルミアルマイト 70			←			←			←											
ガラス	透明5			←			←			←											
備考																					
室名・符号・箇所	⑤ AW	遊戯室	1	⑥ AW	保育室D	1	⑦ AW	保育室C	1	⑧ AW	給食室	2			⑩ AW	給食室	1				
姿図																					
形式	2段2連引き違いガラス窓			2段3連引き違いガラス窓			2連引き違いガラス窓			3連引き違いガラス窓					←						
仕上	アルミアルマイト 70			←			←			←					←						
ガラス	透明5			←			←			←					←						
備考																					
室名・符号・箇所	⑪ AW	休憩室	1	⑫ AW	更衣室ほか	3	⑬ AW	休憩室横便所	1	⑭ AW	ｽﾃｰｼﾞ 倉庫	2	⑮ AW	別棟 物置	1	⑯ AW	別棟 物置	1	⑰ AW	別棟 物置	2
姿図																					
形式	引き違いガラス窓			引き違いガラス窓			両開きガラス窓			縦軸回転ガラス窓			引き違いガラス窓			←			←		
仕上	アルミアルマイト 70			←			←			←			←			←			←		
ガラス	透明5			型4			←			←			←			←			←		
備考																					

*) 枠廻りシーリングは特記なき限り20mmとする

建 具 表

室名・符号・箇所	① AD	食品庫	1	② AD	保育室C	1	③ AD	保育室B	1	④ AD	休憩室前室	1	⑤ AD	児童便所	1						
姿図																					
形式	両開きガラスドア 70			引き違いガラスドア 70			型開きガラスドア 70			←			型引きガラスドア 70								
仕上	アルミアルマイト			←			←			←			←								
ガラス	型 4			←			←			←			←								
備考																					
室名・符号・箇所	⑥ AD	乳児室	1	⑦ AD	保育室A, B	1	⑧ AD	保育室D	1	⑨ AD	保育室E, F, G	1	⑩ AD	食品庫	1	⑪ AD	遊戯室	1	⑫ AD	遊戯室	1
姿図																					
形式	2連4本立てガラス戸				ランマ付両袖引き違いガラス窓付4本建て引き違いガラス戸				ランマ付両袖引き違いガラス窓付引き違いガラス戸												
仕上	アルミアルマイト				←				←												
ガラス	透明5				←				←												
備考																					
室名・符号・箇所	⑨ AD	保育室E, F, G	1	⑩ AD	食品庫	1	⑪ AD	遊戯室	1	⑫ AD	遊戯室	1	⑬ AD	遊戯室	1	⑭ AD	遊戯室	1	⑮ AD	遊戯室	1
姿図																					
形式	ランマ付両袖引き違いガラス窓付4本建て引き違いガラス戸				片引きガラスドア				ランマ付2連4本建てガラス戸				ランマ付4本建てガラス戸								
仕上	アルミアルマイト				←				←				←								
ガラス	透明5				←				←				←								
備考																					

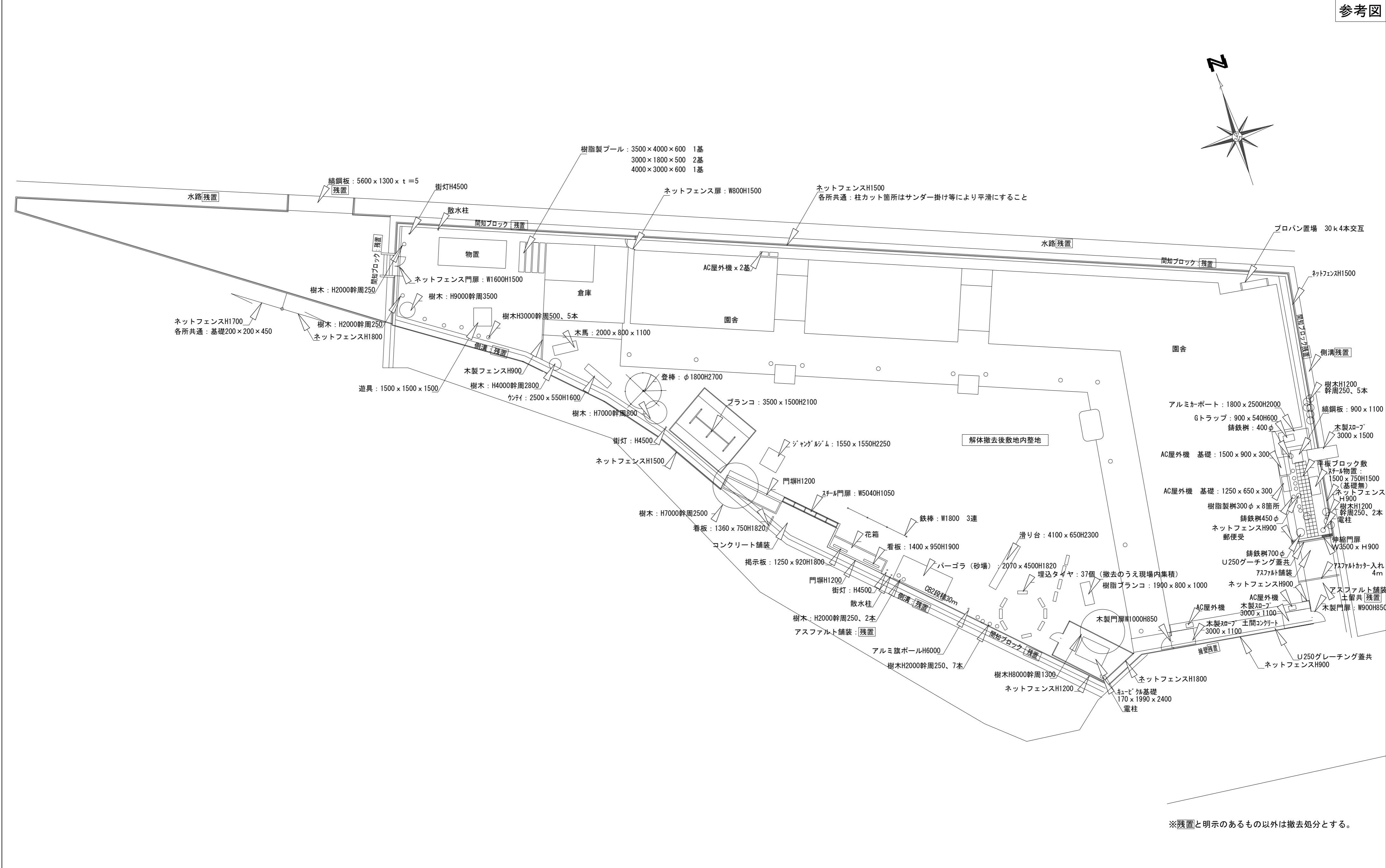
*) 枠廻りシーリングは特記なき限り20mmとする

建 具 表

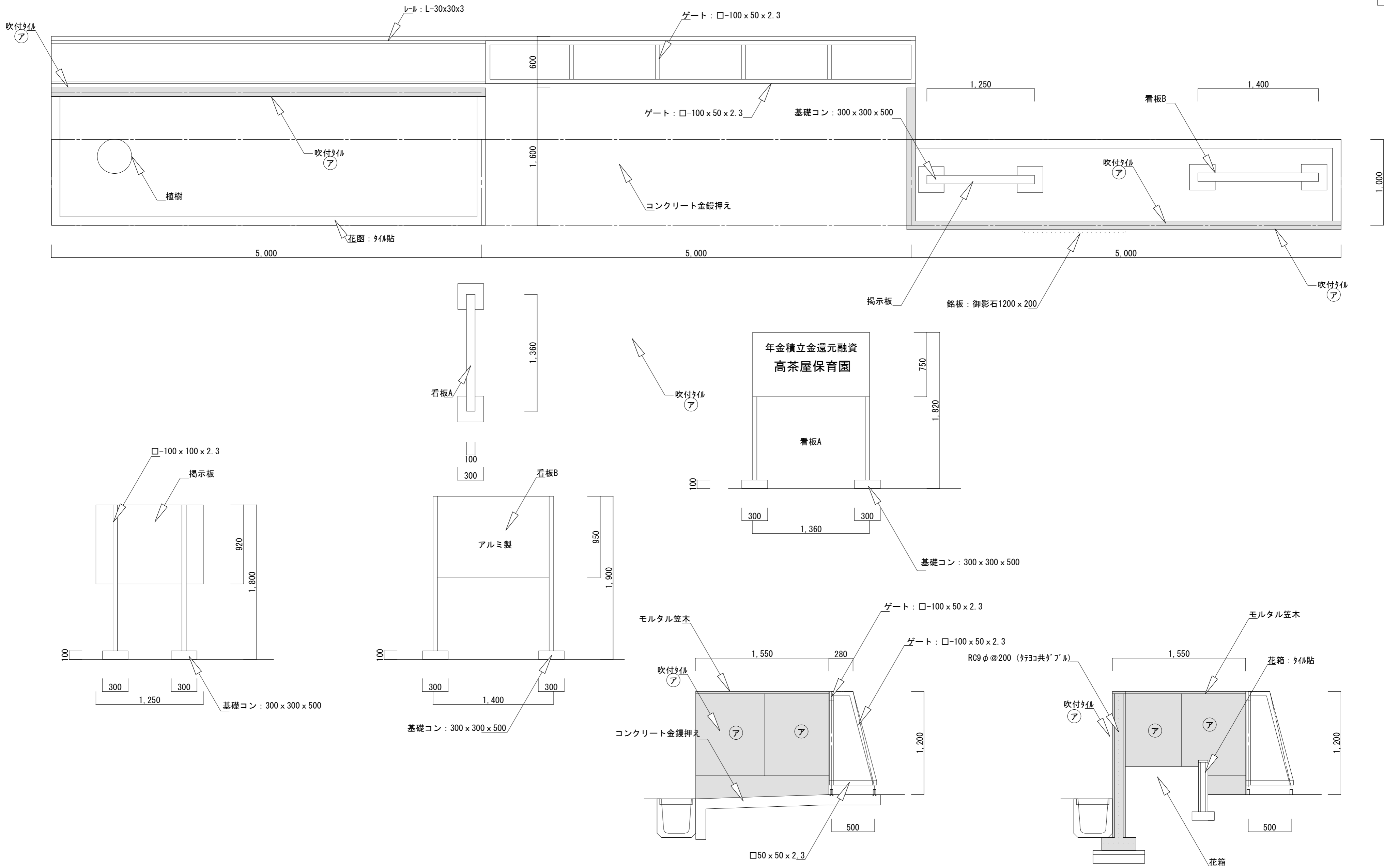
室名・符号・箇所	① LSD	便所	2	②3 AD	湯沸室	1	⑬ AD	医務室	1	⑭ AD	男子職員便所	1	⑮ AD	女子職員便所	1	⑯ AD	保育室A	1	⑰ AD	事務室	1	⑱ AD	事務室	1	⑲ AD	保育室A	1
姿図																											
形式	片引きハンガードア			ランマオープン 片袖FIX付片開きフラッシュドア			ランマオープン 両袖FIX付片開きフラッシュドア			片開きパネルドア			型開きガラスドア			引き違いガラスドア			ランマ付引き違いガラスドア			引き違いガラスドア			ランマ付引き違いガラスドア		
仕上	軽量スチール			アルミパーテーション			←			アルミアルマイト			←			←			←			←			←		
ガラス				中空ブラ			←			型4			←			透明 5			←			←			←		
備考																											

室名・符号・箇所	②0 AD	便所	1	②1 AD	更衣室横便所	1	②2 AD	別棟物置	1	① WD	乳児室	1	② WD	乳児室	1	③ WD	スチーン	1	④ WD	保育室押入	4	⑤ WD	休憩室	1	⑥ WD	休憩室押入	1
姿図																											
形式	片開きパネルドア		←		←		片開きガラスドア		←		片開きフラッシュドア		引き違いガラスドア		4本建て引き違い障子		2連引き違い襖										
仕上	アルミアルマイト		←		←		←		←		←		ベニヤフラッシュ		スプルス		桑まがい										
ガラス							透明 5		型4		型4																
備考																											

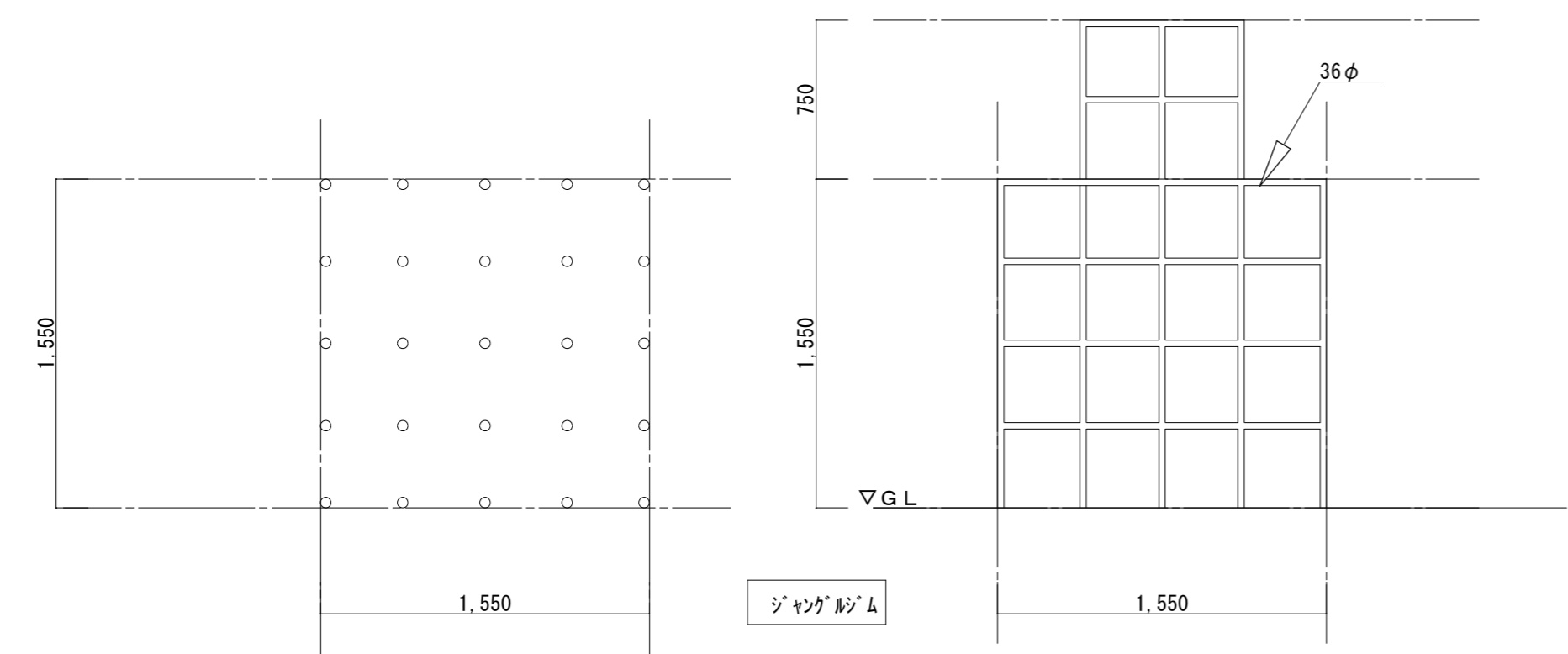
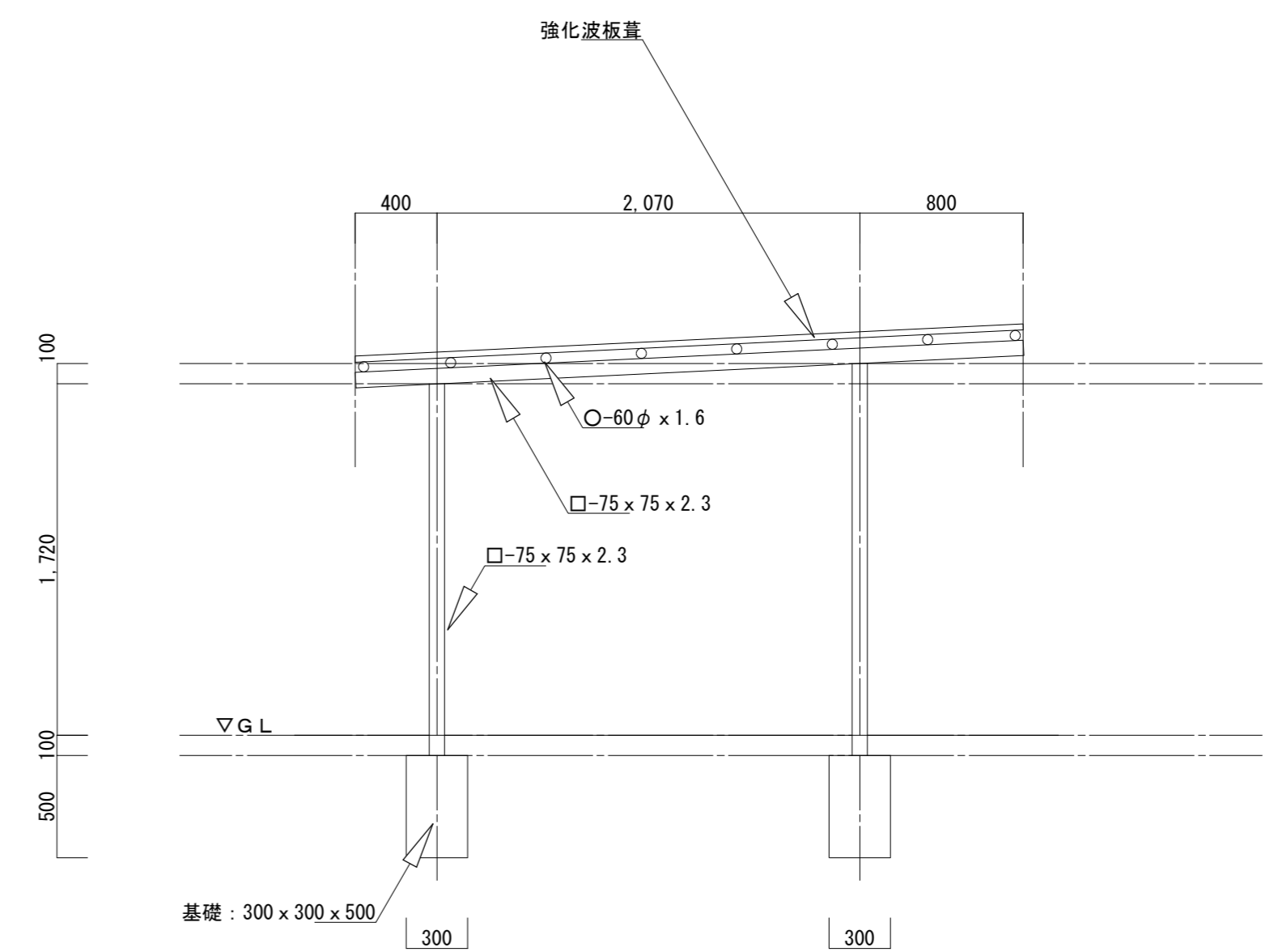
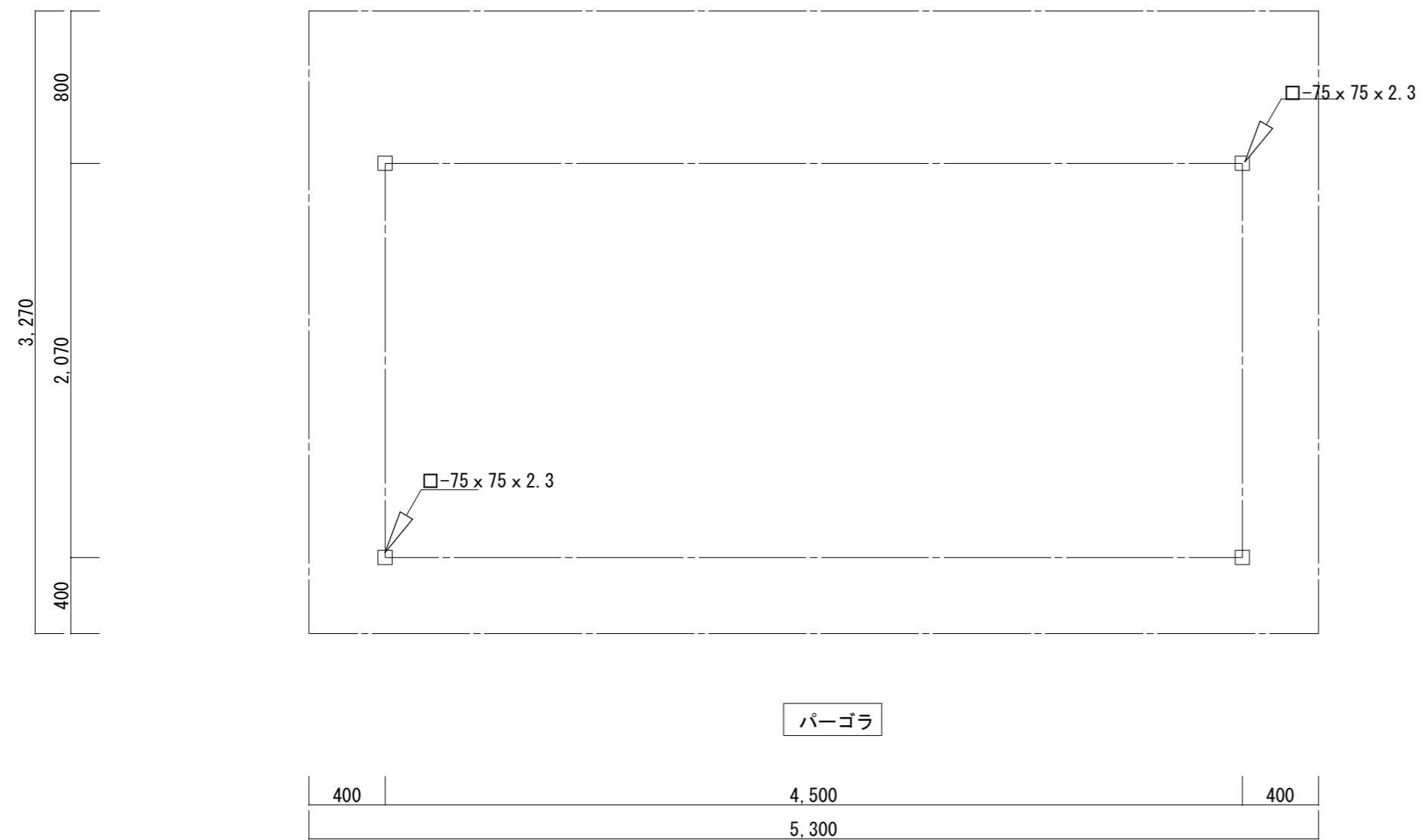
室名・符号・箇所	⑦ WD	保育室ほか	4	⑧ WD	ほふく室	1	⑨ WD	事務室	1	⑩ WD	女子職員便所	1	⑪ WD	便所	1	⑫ WD	給食室	1	⑬ WD	給食室	1		① SS	通路 ※ 付室	2
姿図																									
形式	型引きガラスドア			4本建て襖			型引きガラスドア			トレブース			←			3段2連引き違いガラス窓			2段2連引き違いガラス窓			軽量バランスシャッター			
仕上	合板フラッシュ			鳥の子紙			合板フラッシュ			ポリ合板フラッシュ			←			木製			←			スラット t=0.6			
ガラス	透明 5						透明5									透明3			←						
備考																									

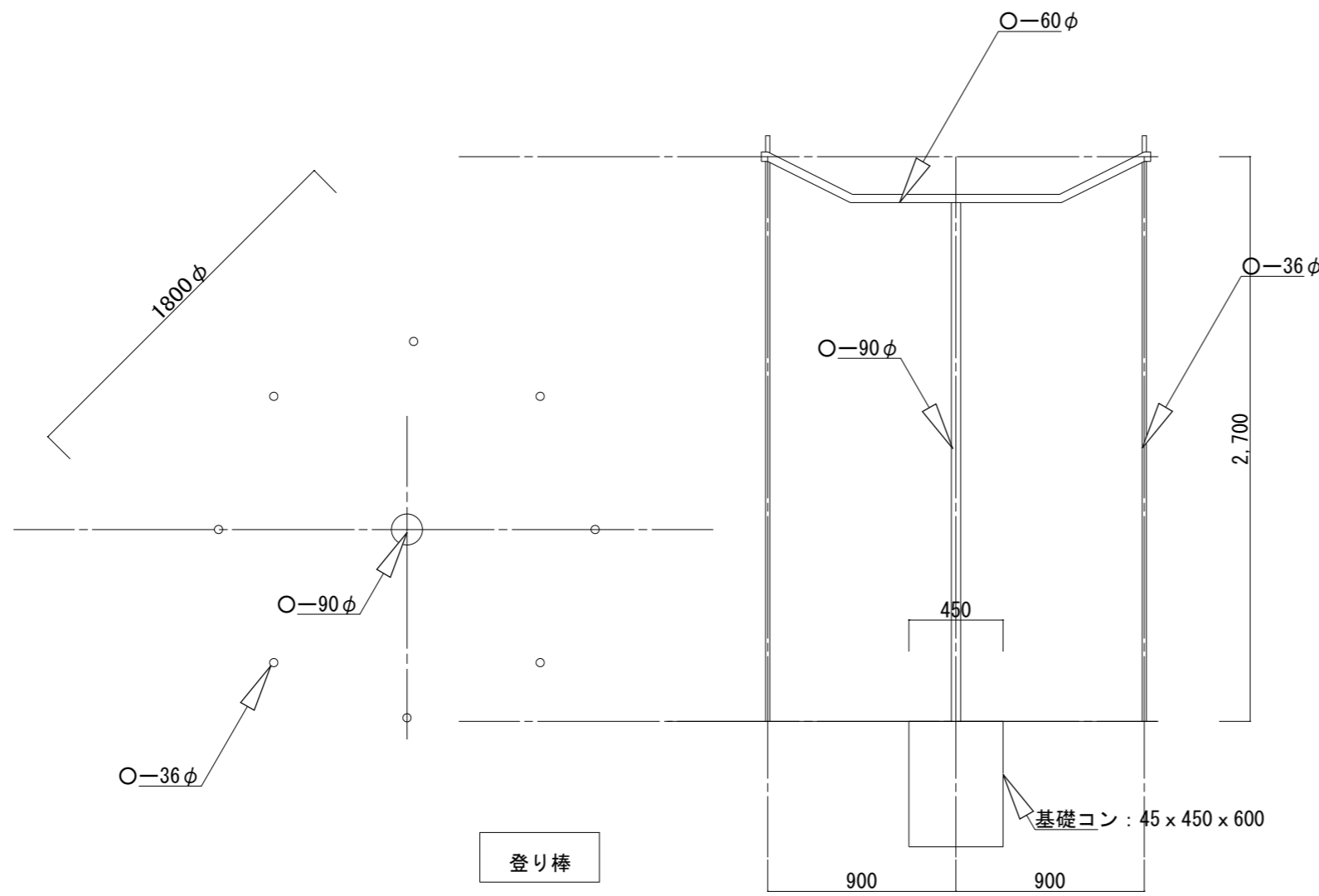
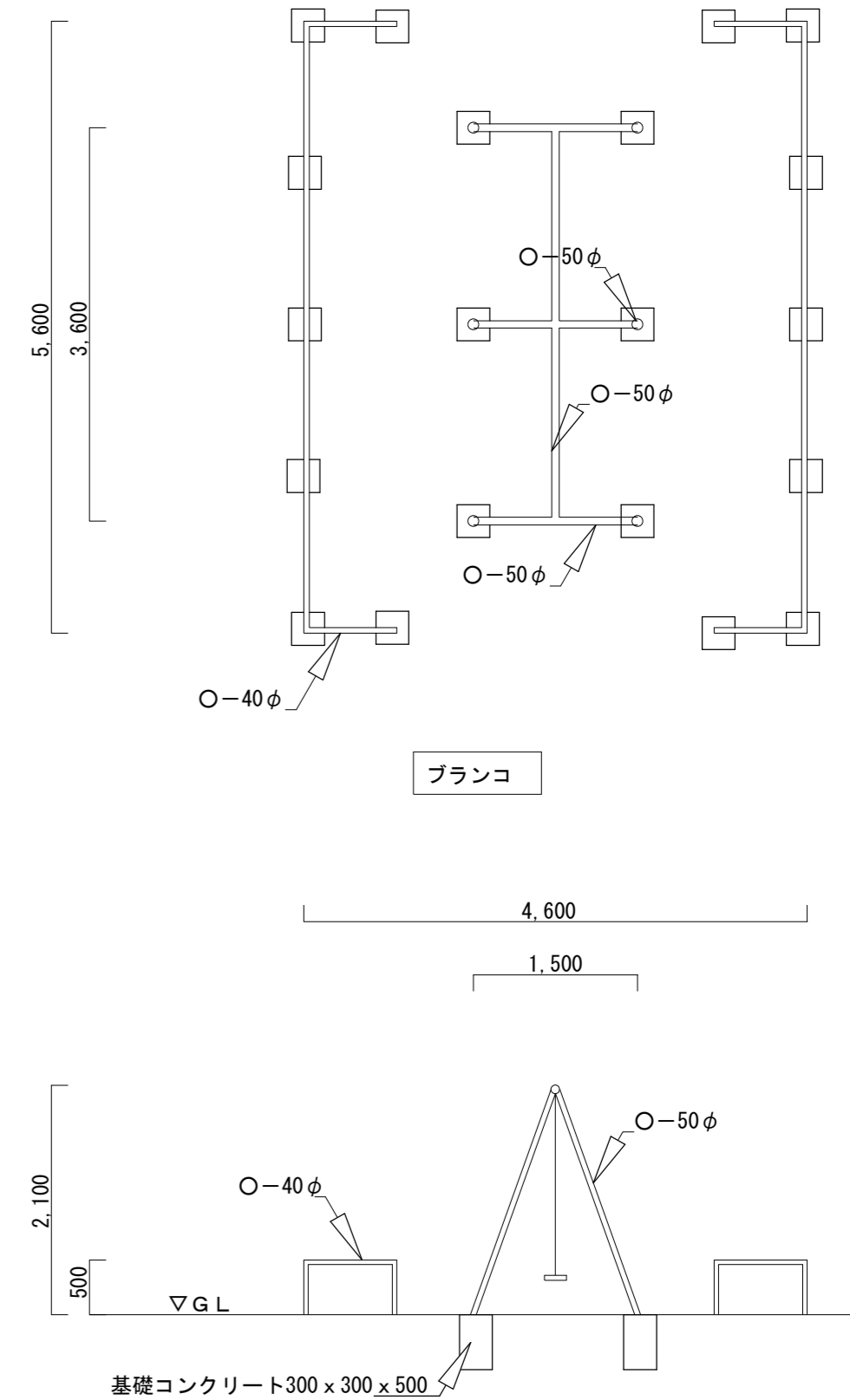
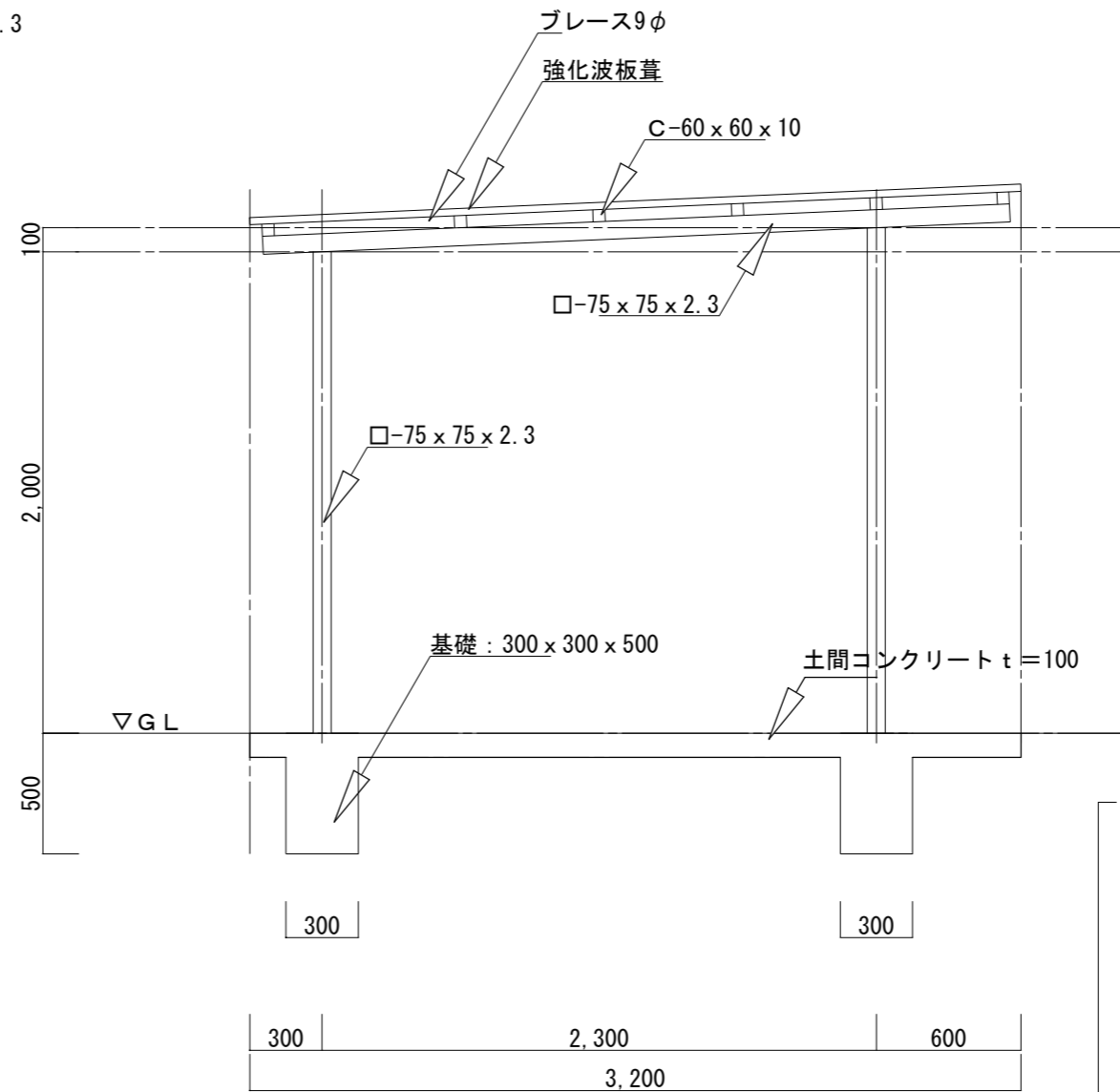
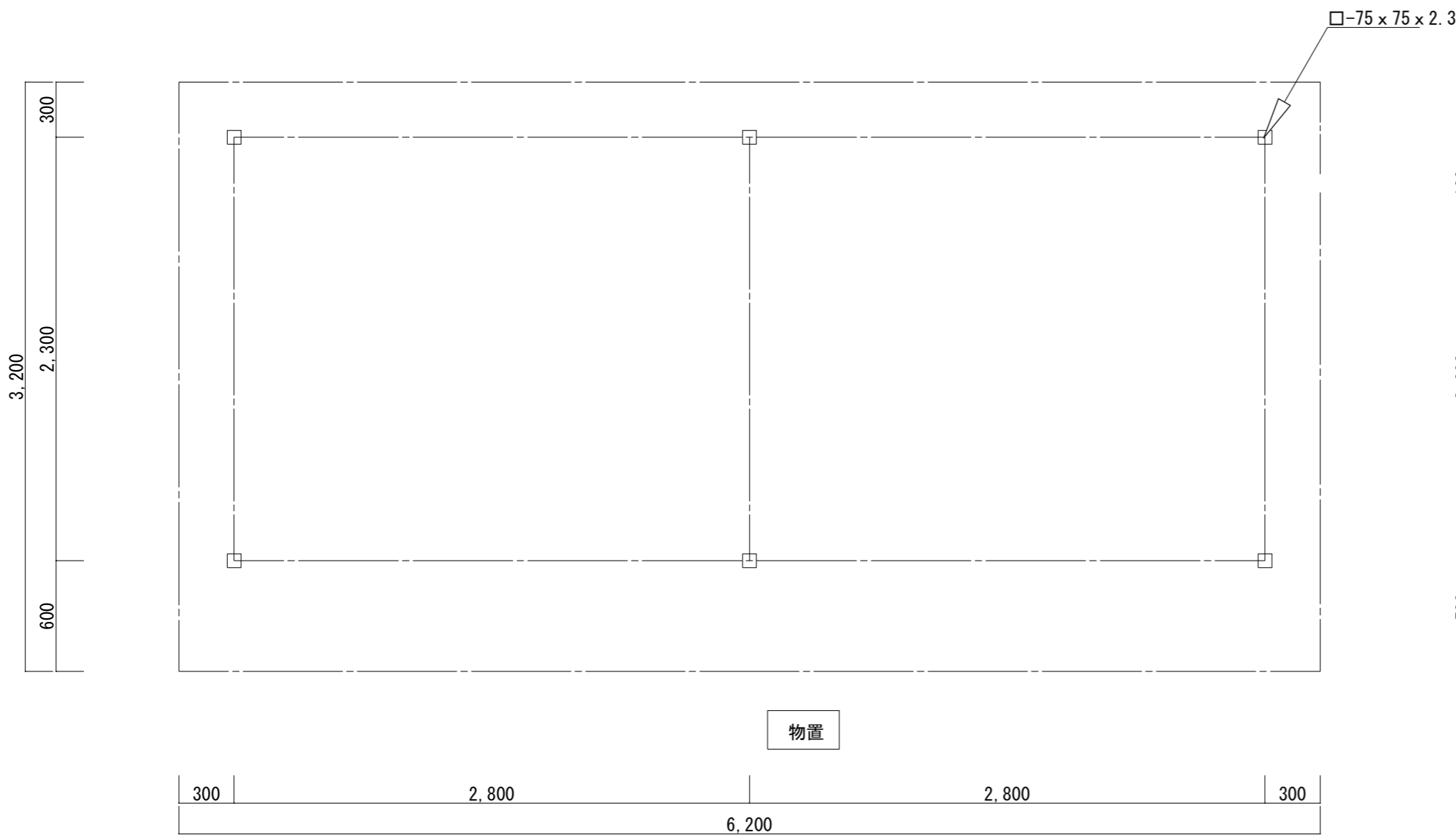


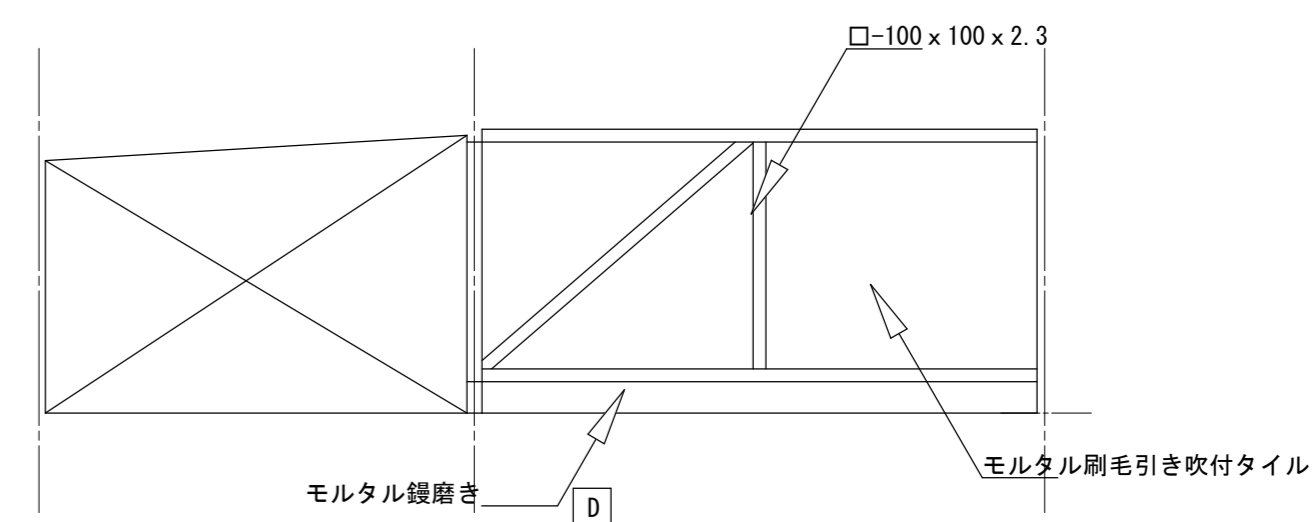
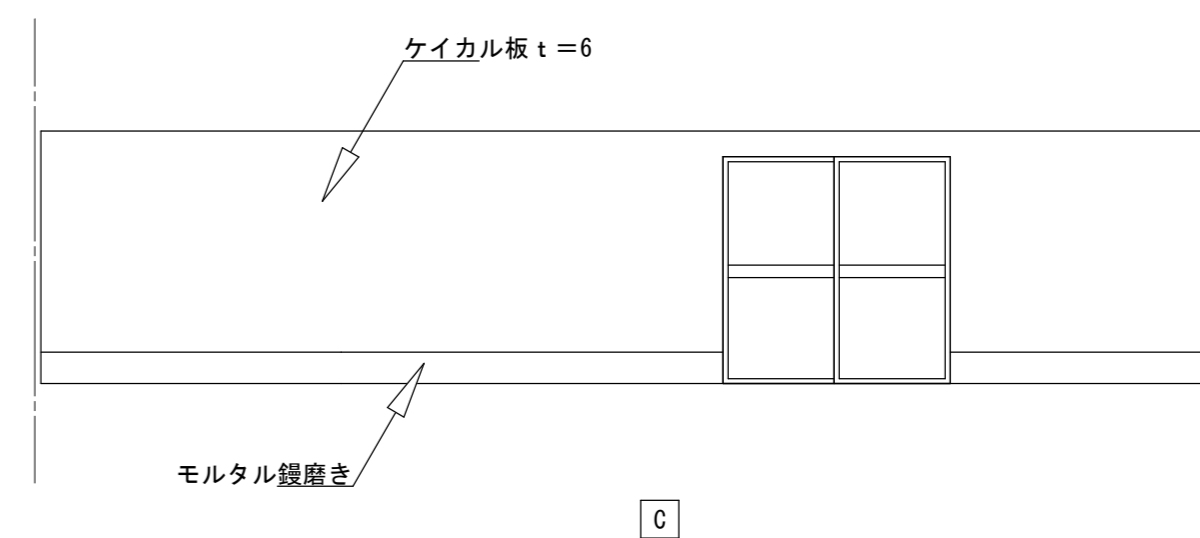
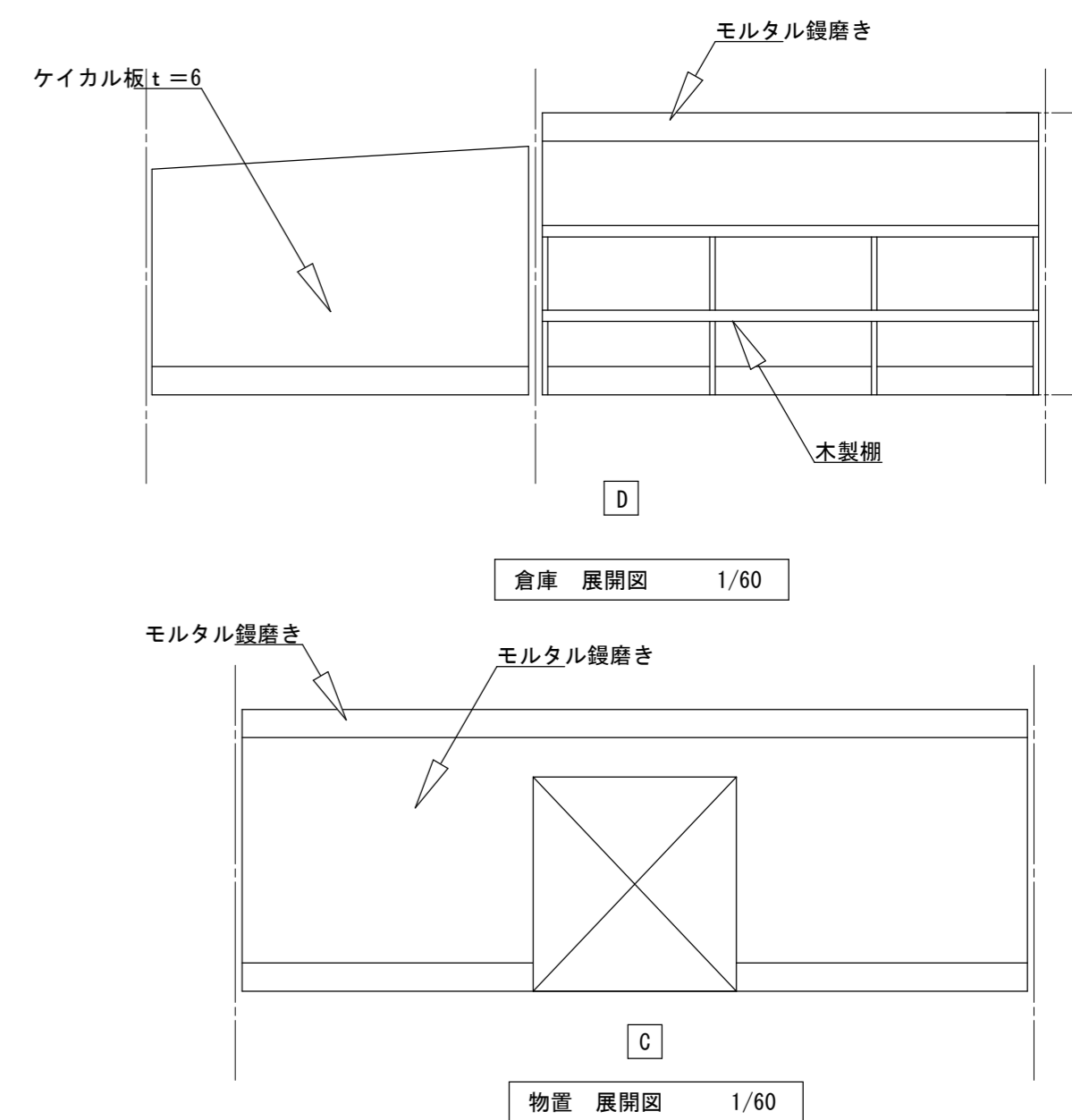
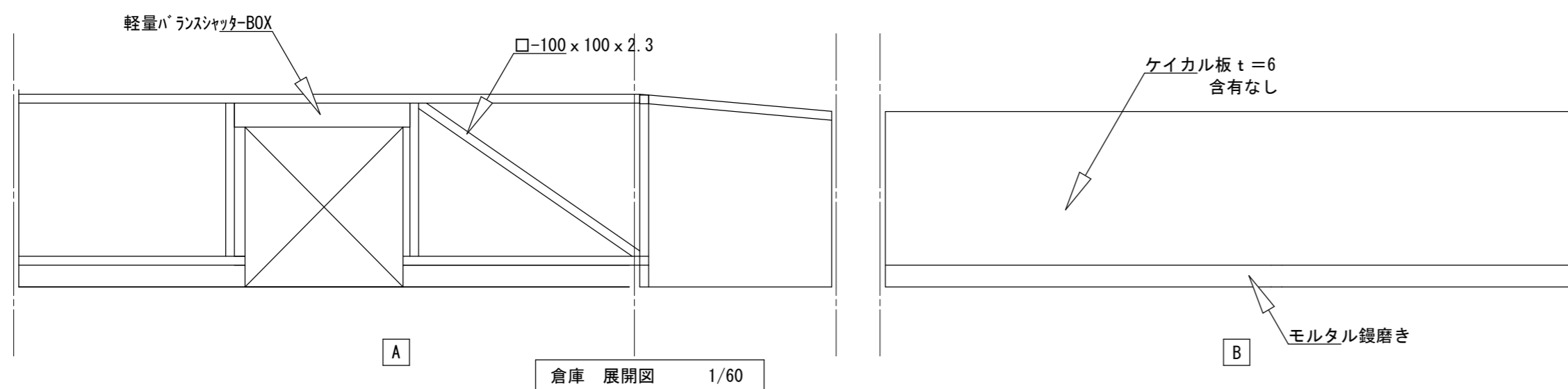
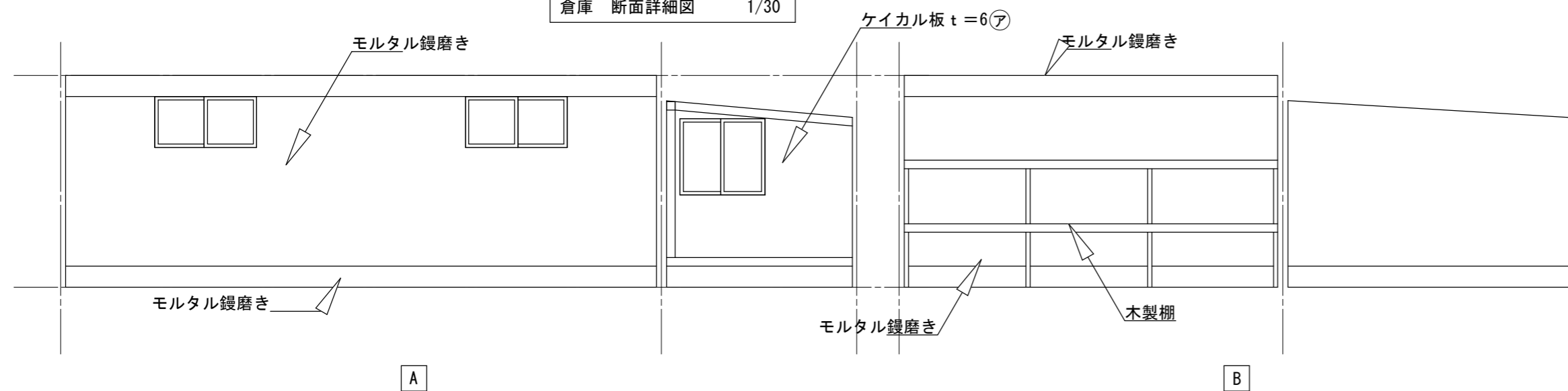
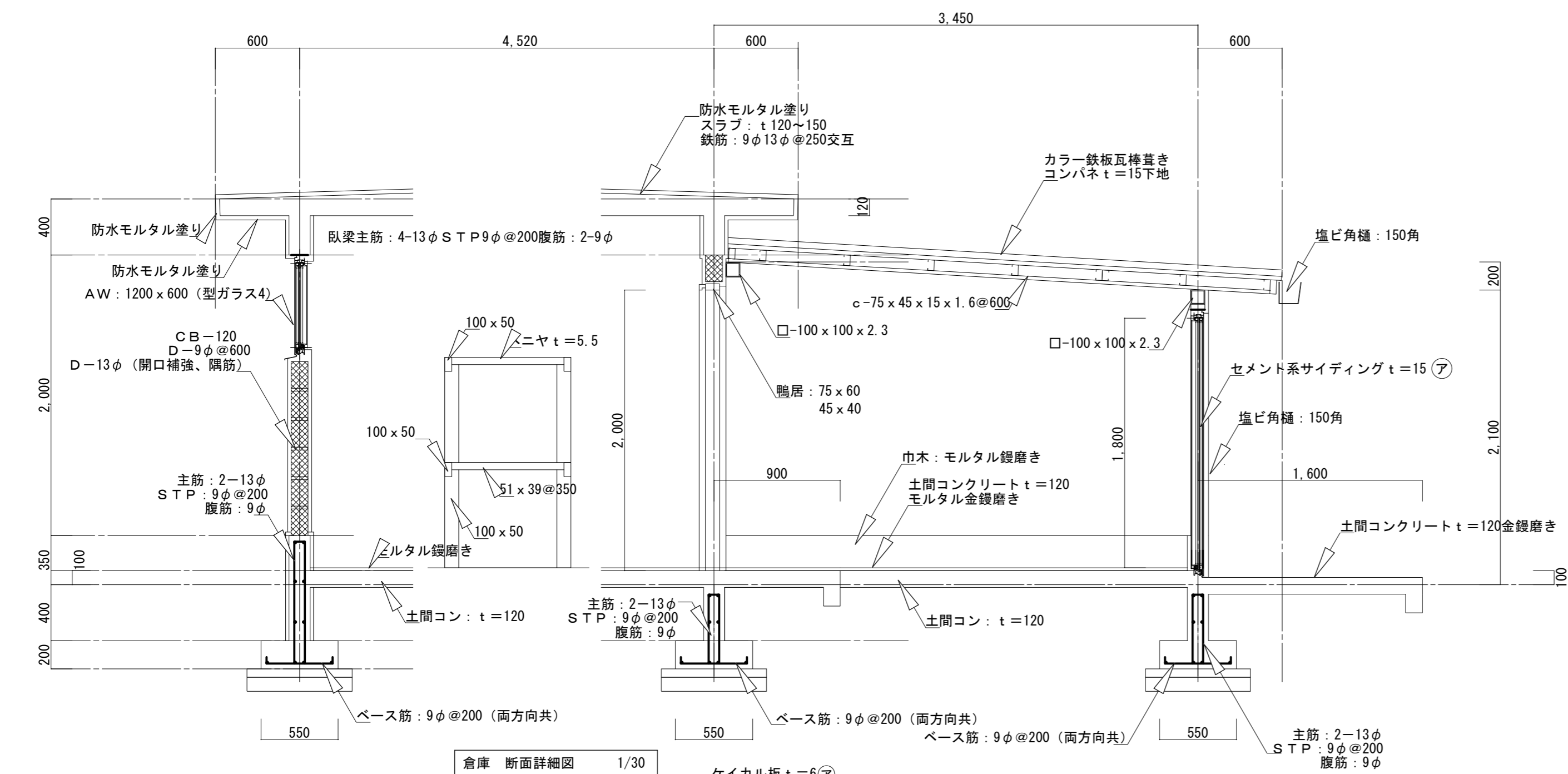
※残置と明示のあるもの以外は撤去処分とする。



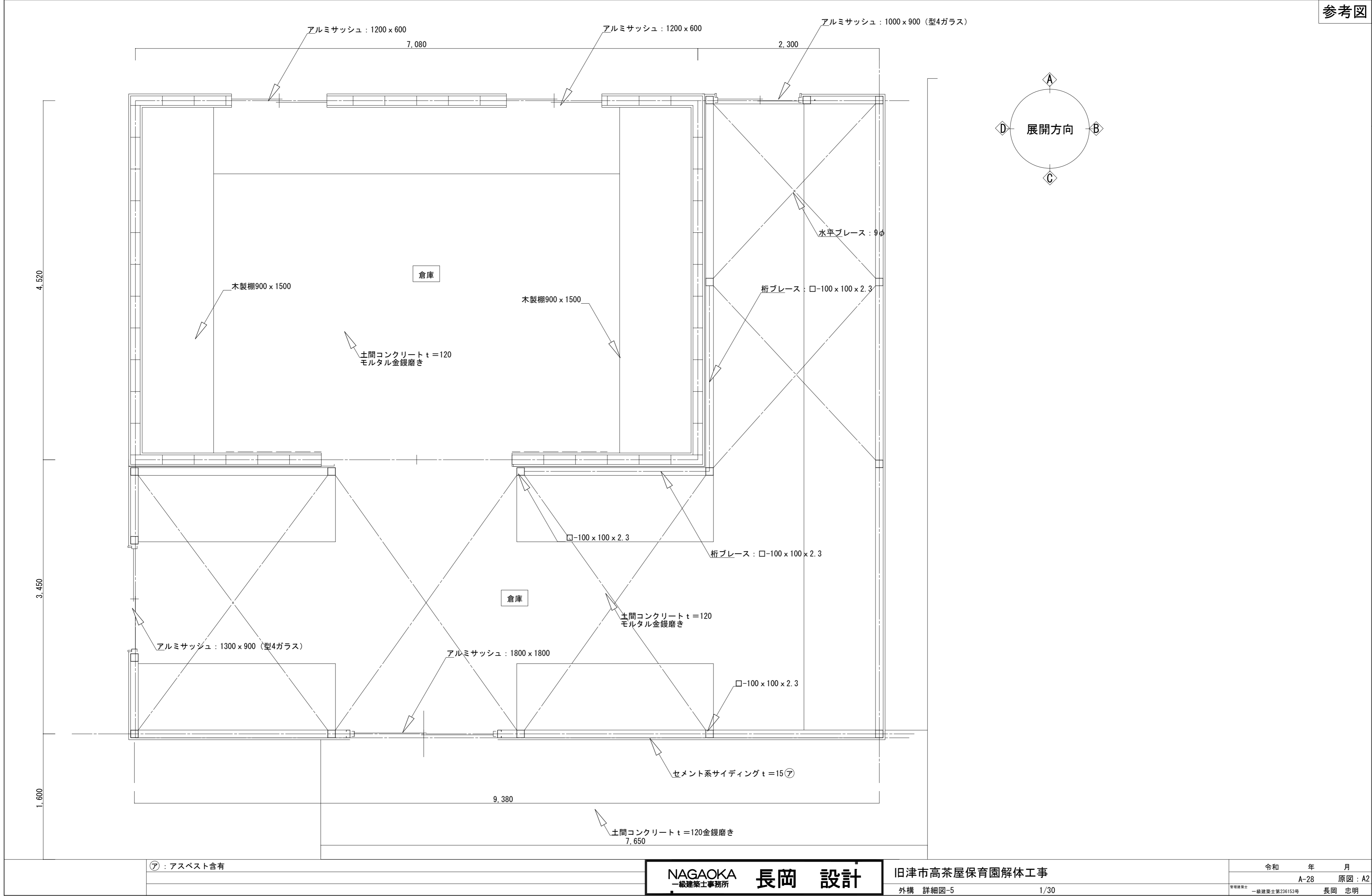
石綿含有仕上塗材：吹付タイルの除去については、敷地周辺の住環境に十分配慮し、湿式工法である集じん装置付超高压水洗工法（100MPa以上）及び湿式集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法にて行うこと。
処理水は分析を行い、基準値以下であることを確認し放流すること。







⑦ : アスベスト含有

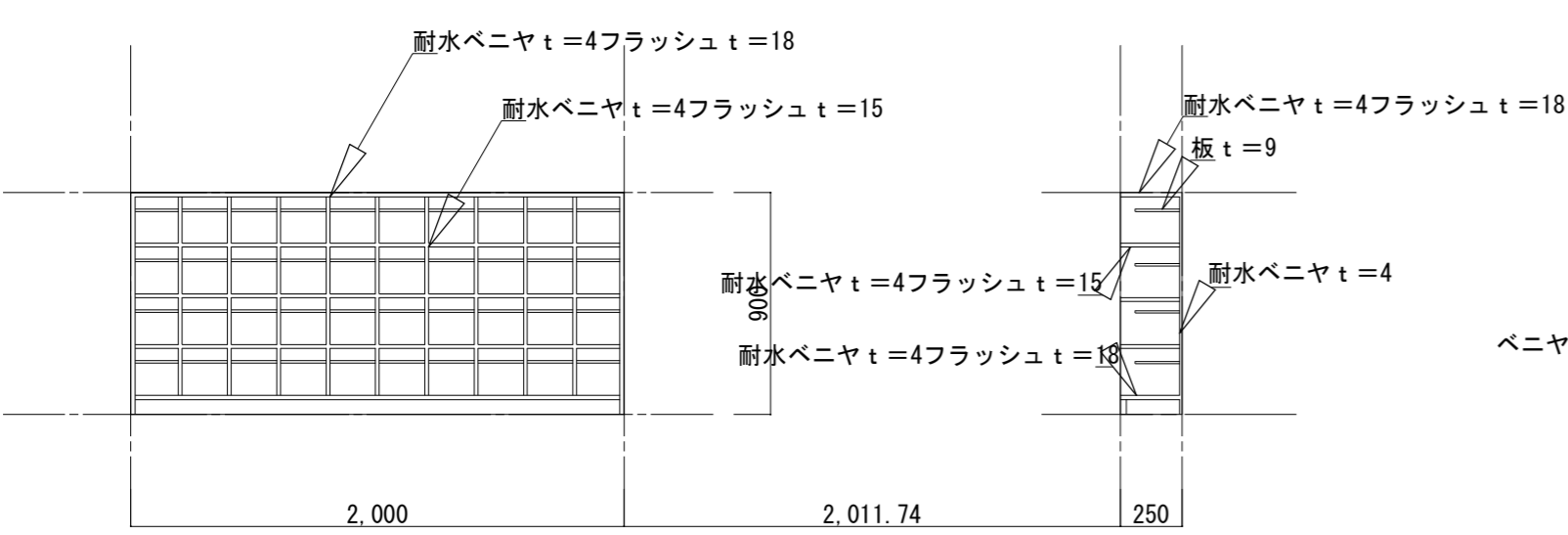


㊦ : アスベスト含有

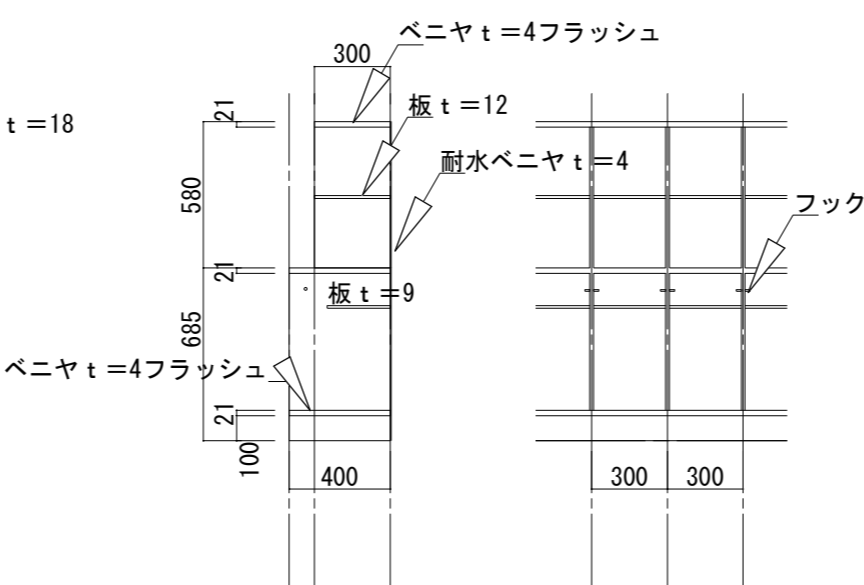
NAGAOKA 長岡 設計
一級建築士事務所

旧津市高茶屋保育園解体工事
外構 詳細図-5
1/30

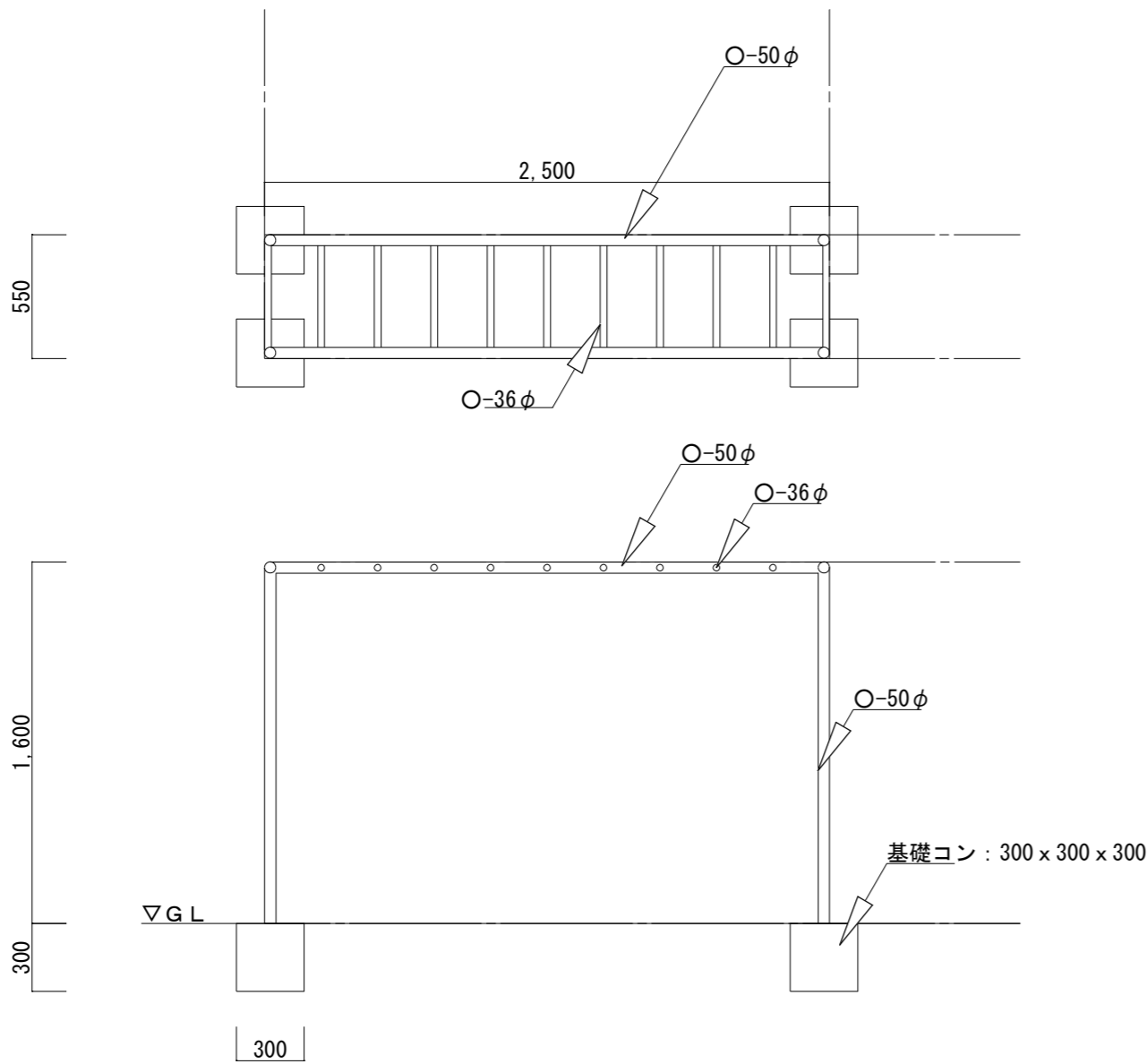
令和	年	月
A-28		原図 : A2
管理建築士 一級建築士第236153号	長岡 忠明	



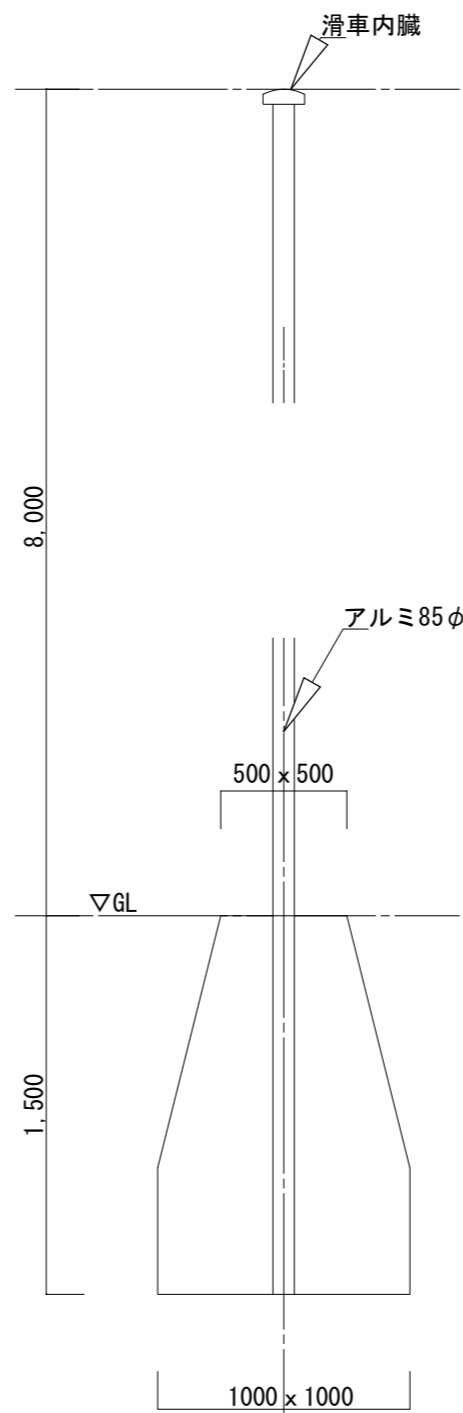
外靴箱



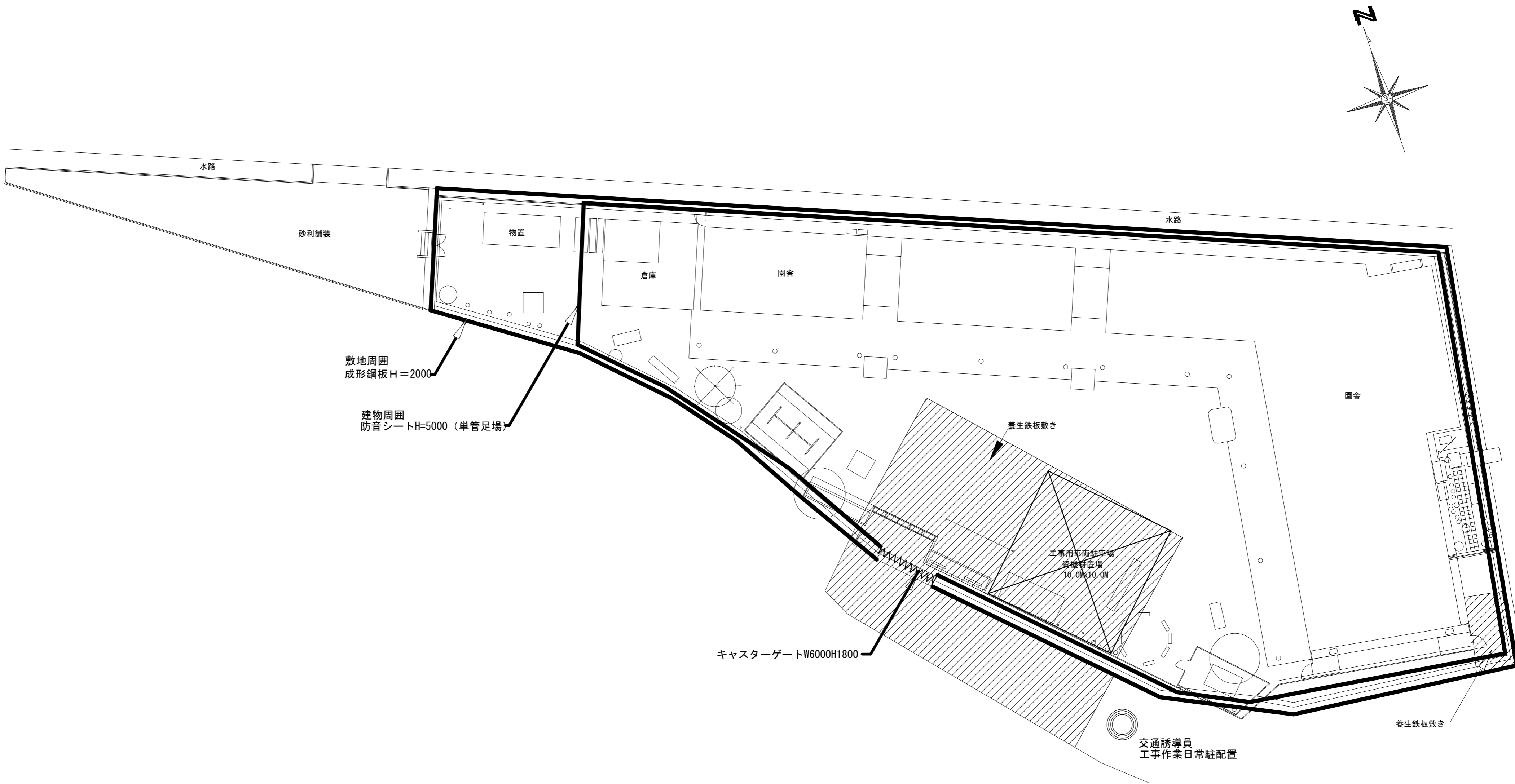
棚



うんてい



旗ポール



※騒音振動測定器を設置すること。